

学 則

平成25年度
(2013年度)

芝浦工業大学

芝浦工業大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自から点検及び評価を行う。
点検及び評価に関する必要事項は別に定める。

(認証評価)

第1条の3 本学は、第1条の2の措置に加え、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受審し、その結果を公表するものとする。

(設置等)

第2条 本学は芝浦工業大学と称する。

第3条 本学は東京都江東区豊洲三丁目7番5号に置く。

(学部及び学科)

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

【工学部】

機械工学科
機械機能工学科
材料工学科
応用化学科
電気工学科
通信工学科
電子工学科
土木工学科
建築学科
建築工学科
情報工学科

【システム理工学部】

電子情報システム学科
機械制御システム学科
環境システム学科
生命科学科
数理科学科

【デザイン工学部】

デザイン工学科

2 この学則に定めるもののほか、各学部に関する規則は別に定める。

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

(学術情報センター)

第6条 本学に学術情報センターを置く。

2 学術情報センターに関する規則は別に定める。

(研究所等)

第7条の1 本学に先端工学研究機構を置く。

2 先端工学研究機構に関する規程は別に定める。

第7条の2 本学にSIT総合研究所を置く。

2 SIT総合研究所に関する規程は別に定める。

(教育イノベーション推進センター)

第8条 本学に教育イノベーション推進センターを置く。

2 教育イノベーション推進センターに関する規程は別に定める。

(収容定員)

第9条 本学の収容定員は別表1のとおりとする。

(学部等における教育研究上の目的)

第10条 学部、学科における人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的は、別表2のとおりとする。

第2章 学 部

第1節 教育課程及び授業科目

(教育課程編成方針)

第11条 本学は学部教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

(成績評価基準等の明示等)

第12条 本学は、学生に対して、授業方法、内容並びに授業計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を保持するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに当該基準に従って適

切に行うものとする。

(教育課程)

第13条 本学の教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを各年次に配当し編成する。

各学部の授業科目、単位数は別表3、別表4、別表5のとおりとし、卒業要件は別表6のとおりとする。

(修業年限)

第14条 学部の修業年限は4年とする。ただし、8年を越えて在籍することはできない。

(教育内容等改善のための組織的研修等)

第15条 本学は各学部の授業の内容及び方法の改善等を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第2節 履修及び授業科目修了認定

(履修及び単位)

第16条 本学所定の授業科目に対する課程を修了し、正規の試験等に合格した学生には、その授業科目所定の単位を与える。各授業科目の1単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によって単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、毎週1時間から2時間、15週の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技等については、毎週2時間から3時間、15週の授業をもって1単位とする。

(学外単位等認定)

第17条 本学学生が本学在籍中に学外で取得した単位は30単位を限度として本学の単位として認めることができる。

- 2 本学学生が本学入学前に学外で取得した単位は本条第1項の認定単位に加えて30単位を限度として本学の単位として認めることができる。
- 3 本学に学士入学又は編入学を許可された者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
- 4 本学に再入学した者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
- 5 本条第1項から前項で認定された単位は、本学で開講されている授業科目に振替えることができる。

(教育職員の免許状)

第18条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

- 2 本学の学科において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類・専門科目及び単位数は別表3及び4に掲げるとおりとする。

(授業科目の修了認定)

第 19 条 授業科目履修修了の認定は試験等による。

(成績評価)

第 20 条 成績評価は優・良・可・不可とし、可以上を合格とする。

第 3 節 卒業及び学位の授与

(卒業認定)

第 21 条 第 14 条に定める修業年限以上在学し、別表 6 に定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が認定する。

(学位)

第 22 条 本学を卒業した者には別表 8 に定める学位を授与する。

第 4 節 入学、退学、休学及び転学

(入学時期)

第 23 条 入学の時期は学年の始めとする。

(入学資格)

第 24 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校を修了したと文部科学大臣が認めた者を含む。）
- (3) 文部科学大臣が指定した者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (5) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 本学が、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学許可)

第 25 条 前条の者のうち本学が行う選考に合格した者につき、教授会の議を経て学長が入学を許可する。

(学士入学)

第 26 条 大学を卒業した者及びこれと同等以上の資格を有する者で、本学に入学すること（学士入学と称する。）を希望する者がいるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。

(編入学)

第 27 条 短期大学・高等専門学校を卒業した者、他の大学で 1 年以上を修了した者及び学校教育法施行規則第 92 条の 3 に規定する者で、本学に入学すること（編入学と称する。）を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。

(外国人特別入学・帰国生徒特別入学)

第 28 条 外国において高等学校の課程に相当する課程を修了した外国人及び日本人で、本学に入学すること（外国人特別入学並びに帰国生徒特別入学と称する。）を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。

(出願書類等)

第 29 条 本学に入学を志願する者は、所定の入学願書、出身学校長の提出する調査書又はこれに代わるものと認められる証明書及び写真に入学検定料を添えて提出しなければならない。

(入学手続)

第 30 条 入学を許可された者は、本学所定の誓約書に保証人と連署の上、住民票その他所定の書類に学費を添えて指定日までに提出しなければならない。

(保証人)

第 31 条 保証人は父母又は年齢 25 才以上の独立生計を営む者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。保証人として不相当と認めるときは変更を命ずることがある。なお、その身分及び住所に変更があったときは速やかに届け出なければならない。

(休学)

第 32 条 病気又はその他の理由によって 2 ヶ月以上出席できない者は、その理由（病気の場合には診断書）を記して保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を経て休学することができる。

- 2 休学の願い出に際しては、休学開始日の前日の属する期までの学費等を納入していなければならない。
- 3 休学は 1 ヶ年以内とする。ただし、特別の理由のある者は休学延期の願い出により引き続き休学することができる。
- 4 休学期間は通算して 4 年を越えることはできない。
- 5 休学期間は在学年数に算入しないが、在籍年数には算入する。
- 6 休学者は休学した学期の単位を取得することはできない。

(休学期間中の学費)

第 33 条 休学期間中の学費は、許可された期の翌期から、休学する期に限り、授業料を免除する。

(復学)

第 34 条 休学者が復学しようとするときはその理由を記し、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を経て復学することができる。

(退学)

- 第 35 条 退学しようとする者は、保証人連署の上、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。
- 2 退学の願い出に際しては、退学の日属する期までの学費等を納入していなければならない。

(再入学)

- 第 36 条 正当な理由により退学した者、又は第 71 条第 1 項第 2 号若しくは第 4 号により除籍された者が再入学を願い出た時は、第 14 条ただし書に定める在籍年数（通算年数とする。）内に卒業見込みのある者に限り、選考の上、教授会の議を経て許可することがある。

(転学)

- 第 37 条 本学の学生が他に転学を志望するときは、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。

第 5 節 学 費 等

(学費等)

- 第 38 条 学費は別表 7 に定めるところによる。
- 2 学費とは入学金、維持料、授業料をいう。
- 3 入学検定料は、諸納入金に関する内規に定めるところによる。

(学費の納付)

- 第 39 条 学費その他の納入金は指定の期日までに納入しなければならない。

(転部・転科生等の学費)

- 第 40 条 転部・転科、又は再入学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の学費を納入するものとする。

(学費の取扱)

- 第 41 条 既に納入した学費は、事情のいかんにかかわらず一切返還しない。

第 6 節 職 員 組 織

(職員)

- 第 42 条 本学に次の職員を置く。
- 学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員。

第7節 学長、学部長、教授会及び大学協議会

(学長・学部長)

第43条 大学に学長を置く。学長は全学の校務を統督し、本学を代表する。

第43条の2 各学部に学部長を置く。学部長は当該学部の校務を司り、当該学部を代表する。

(教授会)

第44条 各学部に教授会を置き、教学に関する重要事項を審議する。

2 教授会に関する事項は本学則によるほか、各学部教授会規則の定めるところによる。

第45条 学部長は教授会を招集する。

第46条 教授会は次の各号を審議する。

- (1) 教授会の運営に関する事項
- (2) 教育及び研究に関する事項
- (3) 教員の研究育成及び留学に関する事項
- (4) 教育研究予算の配分の方針に関する事項
- (5) 教員の補充に関する事項
- (6) 教員の賞罰に関する事項
- (7) 学生の指導育成に関する事項
- (8) 教員評議員の選挙に関する事項
- (9) 学長及び学部長の選挙に関する事項
- (10) 教員の資格審査に関する事項
- (11) 学則に関する事項
- (12) 学部規則に関する事項
- (13) その他学長又は学部長より審議を求められた事項

第47条 学部長、学部付置機関の長、教授、准教授、講師及び助教の任免は教授会の同意のない限り行われない。

第48条 教授会は教育並びに研究に関する事項について審議し、学内関係機関に意見を述べることができる。

第49条 教授会が必要と認める時は、他の学部の教授会と共同して合同の委員会を設けることができる。

(大学協議会)

第50条 本学に大学協議会を置き、教学に関する重要な事項を審議する。

2 大学協議会は、学長、副学長、各学部長、工学部教授会及びシステム理工学部教授会より選出された教授各4名、デザイン工学部教授会より選出された教授1名、大学院理工学研究科長、大学院工学マネジメント研究科長、大学院各研究科より選出された教授各1名、学術情報センター長、先端工学研究機構長、その他学長が指名した者2名以内によって組織する。

3 大学協議会は次の各号の内、学部を越えて調整を要する案件について審議する。

- (1) 将来計画に関する事項

- (2) 教育及び研究組織に関する事項
 - (3) 教育・研究予算に関する事項
 - (4) 教員の構成に関する事項
 - (5) 教員の賞罰に関する事項
 - (6) 学生の指導育成に関する事項
 - (7) 学長の選挙に関する事項
 - (8) 大学学則に関する事項
 - (9) その他学長から審議を求められた事項
- 4 大学協議会に関する事項は本学則によるほか、別に定める規則による。

第 51 条 学長は大学協議会を招集する。

第 8 節 科目等履修生・委託生・研究生

(科目等履修生・委託生・研究生)

第 52 条 本学学生以外の者が、本学所定の授業科目を一又は複数選択して履修する者を科目等履修生とする。

2 科目等履修生については、別に定める。

第 52 条の 2 官公庁、法人又は外国政府より委託されて随時入学する者を委託生とする。

2 委託生の入学資格は第 24 条に準ずる。

第 52 条の 3 一定の研究課題について研究する者を研究生とする。

2 研究生の入学資格は、大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

第 53 条 委託生及び研究生は、本学学生の授業に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

第 54 条 外国人の委託生及び研究生に関しては、別に定めるところにより教授会の議を経て、学長が入学を許可することができる。

第 55 条 委託生及び研究生の学費等は、別表 7 のとおりとする。

第 56 条 委託生が試験に合格したときは、単位取得証明書を交付する。

第 57 条 科目等履修生、委託生及び研究生については、本章に規定するもののほか本学則の各章の規定を準用する。

第 9 節 公開講座

(公開講座)

第 58 条 本学は、技術者の再教育及び一般公衆の文化向上を期して講座を公開することがある。

第 59 条 削除

第 60 条 公開講座の聴講料は、必要に応じ適当と認める額を納入させることがある。

第 10 節 学年・学期及び休業日

(学年)

第 61 条 本学の学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学期)

第 62 条 学年を分けて、次の 2 学期とする。

(1) 前期 4 月 1 日より 9 月 30 日まで

(2) 後期 10 月 1 日より 3 月 31 日まで

2 各学期における授業開始日及び授業終了日等は、年度毎に定める学年暦による。

(休業日)

第 63 条 本学の休業日は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 創立記念日 (11 月 4 日)

(4) 春季休業

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

2 学長は教授会の議を経て休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

3 本条第 1 項の休業日のうち春季、夏季及び冬季の休業日期间は別に定める。

第 11 節 寮及び厚生保健

(学生寮)

第 64 条 必要に応じ学生寮を置き、本学が管理する。学生寮に関する規則は別に定める。

(厚生寮等)

第 65 条 本学に教職員学生のための寮、セミナーハウス等を置く。寮、セミナーハウス等に関する規則は別に定める。

(学校医・健康診断)

第 66 条 本学は、学生の保健衛生に留意し体位向上を期するため、学校医を委嘱する。また、毎年度定期に健康診断を行う。

第12節 賞 罰

(授業料免除)

第67条 品行方正、学力優秀、精勤で学生の範と認められた者には特待生として賞状を授け、授業料を免除することがある。ただし、特待生としての資格に欠けた場合は、その待遇は解かれるものとする。

(学長賞)

第68条 在学期間中、品行方正、学力優秀で学生の範と認められた者には卒業に際し、学長賞が授けられることがある。

(懲戒)

第69条 学生にして本学則にそむき、又は学生の本分に反する行為があった場合は、教育目的のために懲戒する。懲戒処分はその事情によって譴責、停学及び退学とする。

(退学)

第70条 次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずる。

- (1) 入学誓約書に違反した者
- (2) 性行不良で学生の品位を乱し、改善の見込みがないと認められた者
- (3) 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
- (4) 正当な理由がなく常に出席しない者
- (5) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第13節 除 籍

(除籍)

第71条 学長は、次の各号の一つに該当する者について除籍する。

- (1) 行方不明の届け出のあった者
- (2) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者
- (3) 第14条ただし書きに定める在籍年数を超えた者
- (4) 休学期間満了となっても復学等の手続きをしない者

第3章 雑 則

(雑則)

第72条 この学則の改廃は、教授会で審議し、大学協議会の議を経て学長が行う。

附 則

- 昭和 24 年 3 月 25 日 (機械工学科・土木工学科設置)
- 昭和 25 年 3 月 1 日 (電気工学科増設)
- 昭和 27 年 3 月 1 日 (教職課程設置)
- 昭和 29 年 2 月 15 日 (建築学科・工業化学科増設)
- 昭和 29 年 4 月 1 日 (教育職員免許状授与認定)
- 昭和 29 年 4 月 1 日 (同 上。聴講生制度認定)
- 昭和 30 年 1 月 20 日 (機械工学科・電気工学科定員増)
- 昭和 31 年 3 月 1 日 (二部機械工学科・電気工学科増設)
- 昭和 34 年 3 月 1 日 (金属工学科・電子工学科増設)
- 昭和 40 年 12 月 27 日 (機械工学第二学科・通信工学科・建築工学科・工業経営学
科増設)
(機械工学科・電気工学科定員変更)
- 昭和 43 年 6 月 21 日 (教授会構成員・卒業単位数変更)
- 昭和 44 年 5 月 16 日 (教授会構成員変更)
- 昭和 47 年 11 月 17 日 (講座制・教授会その他変更)
- 昭和 49 年 4 月 1 日 (全学科定員変更及び教育職員免許状取得に関する授業科目変更)
本改正学則は昭和 49 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 49 年 1 月 21 日より実施し、学費は昭和 49 年度入学生に
適用する。
- 昭和 50 年 4 月 1 日 (大学院及び研究生の制度並びに抹籍処理の付加、別表 1 の授業科
目、単位数の一部変更、一部学費の改訂及び休学中の授業料免除
額の規定)
本改正学則は、昭和 50 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費及
び休学中の授業料の免除額については、昭和 50 年度以降の入学生
に適用する。
- 昭和 51 年 4 月 1 日 (教育職員免許状授与に関する記載事項の修正並びに入学検定料の
変更)
本改正学則は、昭和 51 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 51 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 52 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 52 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 52 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 53 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部の変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 53 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費は
昭和 53 年度以降の入学生に適用する。
- 昭和 54 年 4 月 1 日 (編入学・休学・復学等の条文並びに授業科目・単位数の一部変更)
- 昭和 55 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 55 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 55 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 56 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 56 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費
は昭和 56 年度以降の入学生に適用する。

- 昭和 57 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更、学費納入に関する条文の修正並びに入学検定料の変更)
本改正学則は昭和 57 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は昭和 57 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 58 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更、教育職員免許状の資格取得に関する記載事項の修正)
- 昭和 59 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料、学費の変更)
本改正学則は、昭和 59 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は昭和 59 年 1 月 10 日より実施し、学費は昭和 59 年度入学生に適用する。
- 昭和 60 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 60 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費は昭和 60 年度以降の入学生に適用する。
- 昭和 60 年 12 月 25 日 (全学科定員変更)
本改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より実施する。
- 昭和 61 年 4 月 1 日 (定員の変更、授業科目・単位数の一部変更、一部廃寮に伴う条文修正及び入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は、昭和 61 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 62 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更)
本改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日より実施する。
- 昭和 63 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更。)
本改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日より実施する。
- 平成元年 4 月 1 日 (他大学等における既修得単位の認定に関する条項の追加、入学手続き時の提出書類に関する条文修正、抹籍及び再入学に関する条文の修正、授業科目の一部変更、学費・入学検定料等の変更)
本改正学則は、平成元年 4 月 1 日より実施する。
ただし、入学検定料は、平成元年 1 月 10 日より実施する。
- 平成 2 年 4 月 1 日 (条文 (第 9 条第 2 項、第 21 条)、授業科目・単位数の一部、教職課程に関する授業科目等及び学費の変更)
本改正学則は、平成 2 年 4 月 1 日より実施する。
ただし、学費は平成 2 年度入学生に適用する。
- 平成 3 年 4 月 1 日 (新学部設置による変更)
学則条文の整理、別表 (入学定員、授業科目等、卒業要件、学費等) の変更。
この学則 (改正) は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、学費および入学検定料は平成 3 年度入学生より適用する。
- 平成 3 年 10 月 1 日 (学費の一部変更)
本改正学則は平成 3 年 10 月 1 日より実施する。
- 平成 4 年 4 月 1 日 (大学設置基準の改正に伴う学則条文の一部改正、別表の収容定員、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)
この学則 (改正) は、平成 4 年 4 月 1 日から実施する。
ただし、第 9 条、第 18 条、第 34 条に係る事項は次の通りとする。
1. 第 9 条の別表 1 は、この規程にかかわらず、平成 4 年度から平成 11 年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

| 工学部 | 学 科 名 | 入学定員 |
|-----|-------------|------|
| 一 部 | 機 械 工 学 科 | 90名 |
| | 機械工学第二学科 | 90名 |
| | 材 料 工 学 科 | 90名 |
| | 工 業 化 学 科 | 90名 |
| | 電 気 工 学 科 | 90名 |
| | 通 信 工 学 科 | 90名 |
| | 電 子 工 学 科 | 90名 |
| | 土 木 工 学 科 | 90名 |
| | 建 築 学 科 | 90名 |
| | 建 築 工 学 科 | 90名 |
| | 工 業 経 営 学 科 | 90名 |
| | 合 計 | 990名 |

2. 第18条は、平成4年3月18日より実施する。

3. 第34条の別表第5は、平成4年度入学生より適用する。

平成5年4月1日 (別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則(改正)は、平成5年4月1日から実施する。

ただし、第34条の別表第5は、平成5年度入学生より適用する。

平成6年4月1日 (学則条文第13条、第24条、第46条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条の一部改正、別表の授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成6年4月1日から実施する。

平成7年4月1日 (二部新学科設置に係る学則条文第4条、収容定員の減少(修学年数の変更)に係る学則条文第11条、第28条の一部改正。別表の収容定員、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成7年4月1日入学生より適用する。

ただし、第9条の別表1は、この規程にかかわらず、平成7年度から平成10年度までの工学部二部機械工学科・電気工学科の収容定員は、次の通りとする。

| 学部 | 年 度 | 機械工学科 | 電気工学科 |
|-----------------------|--------|-------|-------|
| 工 学 部 二 部 | 平成7年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成8年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成9年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成10年度 | 400名 | 400名 |

平成 8 年 4 月 1 日 (学科名称変更に係る学則条文第 4 条の一部変更。学則条文第 1 3 条の一部改正。別表の収容定員。工学部授業科目 (教職課程を含む) 単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
(経過措置)

工学部一部金属工学科は、平成 8 年 3 月 31 日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則 (改正) は、平成 8 年 4 月 1 日から実施する。

平成 9 年 4 月 1 日 (学則条文第 7 条の一部改正、第 8 条の削除、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 9 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 9 年度入学生より適用する。

平成 10 年 4 月 1 日 (学則条文第 6 条並びに第 46 条の一部改正、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 10 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 10 年度入学生より適用する。

また、第 6 条の学術情報センターについては平成 10 年 2 月 1 日より適用する。

平成 11 年 4 月 1 日 (別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 11 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 11 年度入学生より適用する。

平成 12 年 4 月 1 日 (システム工学部電子情報システム学科の定員の変更、工学部一部の臨時定員の延長および恒常化入学定員の変更、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 9 条、第 34 条に係わる事項は次の通りとする。

1. 第 9 条の別表 1 は、この規程にかかわらず、平成 12 年度から平成 15 年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

| 工学部一部 | 平成 12 年度 | 平成 13 年度 | 平成 14 年度 | 平成 15 年度 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 機 械 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 機械工学第二学科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 材 料 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 工 業 化 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 電 気 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 通 信 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 電 子 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 土 木 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 建 築 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 建 築 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 工 業 経 営 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |

2. 第 34 条の別表 5 は、平成 12 年度入学生から適用する。

平成 13 年 4 月 1 日（学科名称変更に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表の収容定員、授業科目（教職課程を含む）、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更）

（経過措置）

工学部一部工業化学科及び工業経営学科は、平成 13 年 3 月 31 日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 13 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 13 年度入学生より適用する。

平成 14 年 4 月 1 日（学則条文第 32 条、第 38 条、第 46 条、第 67 条の一部改正。別表の授業科目（教職課程を含む）、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更。）

この学則（改正）は、平成 14 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 14 年度入学生より適用する。

平成 15 年 4 月 1 日（工学部の収容定員の増加に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表の収容定員。工学部の名称及び入学定員の変更、工学部二部 2 学科の廃止、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、教育職員免許状の種類・教科の一部変更。学則条文第 10 条、第 24 条の一部改正、別表の納入金等の一部変更。）

（経過措置）

工学部一部及び工学部二部機械工学科・電気工学科は、平成 15 年 3 月 31 日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 15 年度入学生より適用する。

平成 16 年 4 月 1 日（工学部の収容定員の増加に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表 1 の収容定員、入学定員の変更。工学部二部 1 学科の廃止に係わる学則第 29 条、第 34 条、別表 2 の授業科目・別表 4 の単位数等の一部変更。学費に係わる別表 5 の一部変更。）

（経過措置）

工学部二部電気設備学科は、平成 16 年 3 月 31 日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。ただし、第 34 条の別表 5 は平成 16 年度入学生より適用する。

平成 17 年 4 月 1 日（学則条文第 8 条の追加、第 29 条の一部改正。別表 5 の納入金等の一部改正。）

この学則（改正）は、平成 17 年 4 月 1 日から実施する。ただし、第 29 条の休学期間中の学費の取扱は、平成 17 年度の在籍者から適用する。

平成 18 年 4 月 1 日（学則条文第 3 条の変更、第 10 条、第 46 条の一部改正。別表 2 の工学部授業科目、別表 3 のシステム工学部授業科目、別表 4 の学部・学科別卒業要件、別表 5 の納入金等の一部改正。）

この学則（改正）は、平成 18 年 4 月 1 日から実施する。

平成19年4月1日 (学則条文第38条並びに第43条の一部改正。別表2の工学部授業科目、別表3のシステム工学部授業科目、別表4の学部・学科別卒業要件、別表5の納入金等の一部改正。)

この学則(改正)は、平成19年4月1日から実施する。

平成20年4月1日 (学則条文第1条、第4条、第18条、第34条、第36条、の一部改正。別表1収容定員、別表2の工学部授業科目、別表3システム工学部授業科目、別表4の学部学科別・卒業要件の変更、別表5の納入金の一部改正、別表6学位の種類追加。)

この学則(改正)は、平成20年4月1日から施行する。

平成21年4月1日 (学則条文第29条、第46条、別表6の一部改正。デザイン工学部設置、システム工学部数理科学科設置、工学部機械工学第二学科名称変更、システム工学部名称変更、収容定員の変更に係る学則第4条、第10条、第17条、第18条、第34条、第51条の一部改正。別表1収容定員、別表2の工学部授業科目、別表3システムの工学部授業科目、別表4のデザイン工学部授業科目、別表5学部学科別・卒業要件の変更、別表7学位の種類の一部追加ならびに改正。)

工学部機械工学第二学科は、平成21年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

システム工学部は、平成21年3月31日に在学するものが、当該学部_に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則(改正)は、平成21年4月1日から実施する。

ただし、別表6納入金の取り扱いは、平成21年度の在籍者から適用する。

平成22年4月1日 (条項に項目(見出し)を追加。認証評価に係る学則第1条の3の追加。SIT総合研究所に係る学則第7条の2の追加。学部等における教育研究上の目的に係る学則第10条の追加。教育課程編成方針に係る学則第11条の追加。成績評価基準等の明示等に係る学則第12条の追加。教育内容等改善のための組織的研修等に係る学則第15条の追加。学則条文第21条、第30条、第63条の一部改正。学則第65条と第66条の入れ替え。学部等における教育研究上の目的に係る別表2の追加。別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5のデザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成22年4月1日から適用する。

平成23年4月1日 (学長に係る学則第43条の追加。公開講座に係る学則第59条の削除。学期に係る学則第62条第2項の追加。別表2芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5デザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成23年4月1日から適用する。

平成24年4月1日 (学則条文第8条の変更。別表2学部等における教育研究上の目的、別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5デザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)

この学則(改正)は、平成24年4月1日から実施する。

教育イノベーション推進センター設置にともない教育支援センターは廃止する。

平成 25 年 4 月 1 日（別表 2 学部等における教育研究上の目的、別表 3 工学部授業科目、別表 4 システム工学部授業科目、別表 5 デザイン工学部授業科目、別表 6 学部学科別・卒業要件の変更。学則条文第 8 条の変更）

この学則（改正）は、平成 25 年 4 月 1 日から実施する。

別 表

| | | |
|-------|-----------|----------------------|
| 別 表 1 | ・ ・ ・ ・ ・ | 収 容 定 員 |
| 別 表 2 | ・ ・ ・ ・ ・ | 芝浦工業大学における教育研究上の目的 |
| 別 表 3 | ・ ・ ・ ・ ・ | 工学部授業科目（教職課程含む） |
| 別 表 4 | ・ ・ ・ ・ ・ | システム理工学部授業科目（教職課程含む） |
| 別 表 5 | ・ ・ ・ ・ ・ | デザイン工学部授業科目 |
| 別 表 6 | ・ ・ ・ ・ ・ | 学部・学科別卒業要件 |
| 別 表 7 | ・ ・ ・ ・ ・ | 納 入 金 |
| 別 表 8 | ・ ・ ・ ・ ・ | 学位の種類 |

別表 1

収容定員

| 学部 | 学 科 名 | 入学定員 | 収容定員 |
|--------------------------------------|---------------------|------|--------|
| 工 学 部 | 機 械 工 学 科 | 100 | 400 |
| | 機 械 機 能 工 学 科 | 100 | 400 |
| | 材 料 工 学 科 | 90 | 360 |
| | 応 用 化 学 科 | 90 | 360 |
| | 電 気 工 学 科 | 90 | 360 |
| | 通 信 工 学 科 | 90 | 360 |
| | 電 子 工 学 科 | 90 | 360 |
| | 土 木 工 学 科 | 90 | 360 |
| | 建 築 学 科 | 100 | 400 |
| | 建 築 工 学 科 | 100 | 400 |
| | 情 報 工 学 科 | 100 | 400 |
| | 合 計 | | 1,040名 |
| シ ス テ ム 理 工 学 部 | 電 子 情 報 シ ス テ ム 学 科 | 100 | 400 |
| | 機 械 制 御 シ ス テ ム 学 科 | 80 | 320 |
| | 環 境 シ ス テ ム 学 科 | 80 | 320 |
| | 生 命 科 学 科 | 100 | 400 |
| | 数 理 科 学 科 | 70 | 280 |
| | 合 計 | | 430名 |
| 工 学 部 デ ザ イ ン | デ ザ イン 工 学 科 | 140 | 560 |
| | 合 計 | | 140名 |

別表 2

芝浦工業大学における教育研究上の目的

1. 工学部

| |
|---|
| <p>基礎を身につけ体系的に工学の本質を学び、問題解決により人類社会に貢献できる人材の育成を目的とし、以下の能力を養成する。</p> <p>(1) 共通・教養科目の学修により、工学に必要な基礎学力と広い視野や複眼的なものの見方を身につけ、技術者としての社会的立場と役割を認識した人材を養成する。</p> <p>(2) 学科専門科目の学修により、学問分野の成り立ち、どのような立場で社会に貢献できるか専門領域における基本的な考え方と基礎技術を修得した人材を養成する。</p> <p>(3) 豊かな人格形成の基本と基礎的な学力を養い、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を養成する。</p> <p>(4) 工学の本質を体系的に理解し、課題を解決する能力を養成する。</p> <p>(5) 複数のアプローチ、制約条件、グローバルな視点で社会に与える影響などを考慮した、課題の解決方法を養成する。</p> |
|---|

学科

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|---------|--|
| 機械工学科 | <p>機械工学科では、「社会や産業界からの要求を満たす国際的に認められた総合的な機械技術者の養成」を目指し次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 機械工学に関する知識や技能を用いて諸問題の分析を行う能力と、それらを「ものづくり」に活用できる応用力。</p> <p>(2) 社会や環境との関わりに配慮して「ものづくり」を実践できる社会的責任感と倫理観。</p> <p>(3) 他者との協働の中で十分な意思疎通を図りながら自らの判断や意見について説明できるコミュニケーション能力。</p> <p>(4) 技術的課題の探求に関心を持ち、情報環境等を利用して継続的に自己学習できる能力。</p> |
| 機械機能工学科 | <p>機械機能工学科では、地球的視野から科学技術の現状を捉え、人間環境や感性までを含めた機械工学と人間性の調和に向けた次世代の技術の姿を探り、新たな機能の創成を目指す工学・技術の知識と教養を備えた次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 人間のみのための独善的な機械工学の探索ではなく、地球的視野に立って機械工学の必要性を常に見直せる技術者としての倫理観および責任感を備えた技術者。</p> <p>(2) 現象・事象を自ら能動的に考え、分析し、そして行動へ移すことができる技術者。</p> <p>(3) 技術と資源・環境・文化・社会・経済などとの関連において、学際総合工学として人間と機械を見据えて、これらをデザインし創造していくことのできる視野と能力を備えた技術者。</p> |
| 材料工学科 | <p>材料工学科では、「材料・物質に対する高度な知性を身につけ、材料製造・開発の即戦力となる創造性豊かな人材の育成」を教育の根幹とし次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 材料工学の知識・技術を基礎としつつ、より広い領域の課題を探求する姿勢を身につける。</p> <p>(2) 材料工学および物質科学を体系的に理解し、問題解決する能力を身につける。</p> <p>(3) 社会における課題を材料工学の知識を用いて多角的に分析し、解決方法を立案する能力を身につける。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|---|
| 応用化学科 | <p>応用化学科では、次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 化学を基盤とするための自然科学、工学一般に係る基礎知識と技術を習得した人材 (2) 化学を基盤とする生産技術の開発、生産管理、環境保全に携わる為に必要な知識と技術を習得した人材 (3) 社会における責任と倫理、他者との協調性を持って化学を基盤とする業務に携わる能力を習得した人材 |
| 電気工学科 | <p>電気工学科では、次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 種々の文化および社会の発展の歴史を学ぶことにより、多面的にものごとを捉えることができる。 (2) 技術者の行動規範となる倫理要綱を理解し、説明できる。また、工学の実践の場において、技術者として倫理観に基づき価値判断ができる。 (3) 数学、自然科学、情報利用技術を問題解決のための言語・道具として使いこなすことができる。 (4) 電気工学に関する技術を課題に適用し解決するために応用することができる。 (5) 社会のニーズを捉え、専門的課題を自ら設定し、デザイン能力を活かして設計、解析、製作、評価し、課題を解決できる。 (6) 社会に通用するコミュニケーション能力を持ち、技術者として活動することができる。 (7) 課題を自主的に選択し、継続的に取り組むことにより、自ら探求心を高めることができる。 (8) 与えられた制約の下で課題に対して効果的に取り組むためにチームワークを発揮し、自分の役割を担い仕事をまとめることができる。 |
| 通信工学科 | <p>通信工学科では、次に示す項目を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 通信工学に関する基礎的な学力、および、専門分野に関する問題を探求する姿勢 (2) 通信工学の本質を体系的に理解し、課題を解決する能力 (3) 通信工学における複数のアプローチ、制約条件、社会に与える影響などを考慮した課題の解決方法 |
| 電子工学科 | <p>電子工学科では、次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎知識・応用力 電子工学の専門分野（物性デバイス・知能情報回路）の基礎知識および応用力を身につける。 (2) 自己表現力・対話能力 自らの意見を論理的に説明するためのプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を身につける。 (3) 態度・志向性 協調性、倫理観および責任感を身につける。 |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|---|
| 土木工学科 | <p>土木工学科では、構造物・自然・社会からなる総合システムを大局的に捉える能力、そして集団の中での自己の役割と責任の自覚をもつ土木技術者の養成を目指し、次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地球的な視野から多面的に物事を考える能力と素養を身につける。 (2) 持続可能な社会を創造するための役割と責任を自覚する。 (3) 工学および土木工学分野の基礎知識を習得し、現実の問題や社会の要求を理解・探求・解決する力を身につける。 (4) 日本のみならず国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を身につける。 |
| 建築学科 | <p>建築学科では、人間の生活に深く関係する建築物やその環境について、歴史を検証し、現代社会が抱える安全性や機能性などの基本的な問題を探り、新しい時代の人間や社会にとってより良い生活環境をつくり出すため、次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史的発展を含めた技術の事象を理解する。 (2) 技術と関連する普遍的法則としての科学を理解する。 (3) 技術と現実社会の関係について認識し、そこで問題点を提起できる。 (4) 技術の実践を通じてつくることの意味を認識する。 (5) 豊かな人間性や社会性およびコミュニケーション能力を身につける。 |
| 建築工学科 | <p>建築工学科では、建築に立脚した専門知識に加え、豊富な教養と広範な視野を養うために、一部に偏ることなくバランスのとれた総合的な知識を広く習得するよう次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 工学や建築に関する専門知識 (2) 豊富な一般教養と幅の広い視野に基づくコミュニケーション能力 (3) 正しい倫理観と優れた工学センスに基づいて問題を把握し解決する能力 (4) 国際的にも通用する能力 |
| 情報工学科 | <p>情報工学科では、「コンピュータを利用して人間の社会と生活を豊かにする技術」を体系的に広く学ぶことにより次のような能力を身に付けた人材を育成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 技術の基盤を支える数学と物理などの自然科学の基礎学力。 (2) 情報工学の基本的な考え方と基礎技術、およびそれらを創造的に応用できる能力。 (3) 情報技術が社会に及ぼす影響や有効性を考えながらコンピュータを用いたシステム的设计・実装を行う能力。 (4) 幅広い教養と豊かな人間性を基に、地球的視点からの広い視野を持って課題に自律的に取り組む能力。 (5) 技術者として必要な他者とのコミュニケーションの能力。 |

2. システム理工学部

| |
|---|
| <p>(1) 学部総合科目の学修により、幅広い教養を身につけるとともに、個々の科学技術を総合して問題の解決に取り組むシステム思考を修得した人材を養成する。</p> <p>(2) 学部共通科目の学修により、エンジニアとしての基礎を固めつつ、社会の問題解決に必要なシステム工学の理論と手法を修得した人材を養成する。</p> <p>(3) 学科専門科目の学修により専門的知識と体験を深め、総合研究への取り組みを通じて各自が設定したテーマを解明し総合的解決策を導き出す能力を修得した人材を養成する。</p> <p>(4) 社会に貢献するエンジニアとしての技術倫理観を修得した人材を養成する。</p> |
|---|

学科

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|------------|---|
| 電子情報システム学科 | <p>電子情報システム学科では、学科の教育理念に基づき、以下の5つの教育目標を掲げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広い裾野をもった専門的知識の習得 電子情報システム学科では、「ソフトウェア技術」、「メディア・ネットワーク技術」、及び「ハードウェア技術」のいずれかの分野に基盤を置き、それ以外の二分野を包含する幅広い裾野をもった基礎的知識と深い専門知識を習得する。 2. 知識の習得から実践へ 知識を単に「知っている」というレベルにとどめることなく、さまざまな演習・実験などによる実践を通じて、問題を自ら発見し、解決に向けての方策を探るための「使える知識」を身につける。 3. システム志向のエンジニア 現実の問題と対象の性質を把握し、抽象化・モデル化する「システム思考」、モデルを解析することにより最適な解決方法を探り、その方法に基づきシステムを実現する「システム手法」、そしてシステムを現実的な問題解決のために適正に管理運営する「システムマネジメント」、これらの能力を備えたシステム志向のエンジニアを目指す。 4. 技術者としての倫理観の習得 社会人、および技術者としての倫理観に基づき、実社会において技術者としての責任を果たす能力と技術と社会のかかわり合いについて技術者の立場から考える力を身につける。 5. 技術者としてのコミュニケーション能力の獲得 英語、日本語を用いた技術者としてふさわしい水準のコミュニケーション能力を身に付ける。 |
| 機械制御システム学科 | <p>機械制御システム学科では、多数の要素から成り複雑な動作を伴う機械システムの開発のための機械工学の基礎を修得し、もの・人・環境を総合した新たな価値を生み出す「ものづくり」に応用する能力をもって社会の持続的発展を担うことのできる技術者人材を育成することを目標とする。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|----------|---|
| 環境システム学科 | <p>システム理工学部の基本理念である分野複合・領域横断型教育に基礎を置きつつ、学科の基幹的な科目で得た基礎スキル及び各エリアの専門科目で得た知識と体験に基づき、環境システム学科は以下の資質を有する学生の育成を教育目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的かつ積極的に建築・都市・環境の諸問題を解決しようとする意欲と力を有すること 2. 良好な建築・都市・環境の計画設計と維持管理を科学的かつ合理的に行う力を習得していること 3. 関係する人々と円滑にコミュニケーションする能力を身につけていること 4. 以上を総合して望ましい建築・都市・環境から構成される社会を創造する力を有すること |
| 生命科学科 | <p>人類社会の健康で文化的な生活の確立のために、21世紀に解決せねばならない重要な課題の一つは、癌、循環器系疾患、糖尿病等をはじめとする生活習慣病あるいは老化等の生体の退行性変化の予防、治療の道を確立すること、退行性変化を受けた場合の機能回復・維持システムの確立である。すなわち、健康に老いることを科学的に考え、高齢者も含めた活力あふれる社会を構築することが重要な意味を持つ。このため、本学科ではコメディカル（co-medical）の立場から、生命の複雑なシステム、生命現象および個々の生命機能を理解し、老化との関連の中で健康に老いることを科学的に洞察し、生命・医療・福祉をシステムの的に捉えることができる人材育成を教育の目標とする。</p> <p>研究面では、これまで完全には把握できていない老化等の退行性疾患の発症機序を明らかにする研究の他に、得られた知見を基にその予防法の確立や、発症に伴う生体機能不全の治療のための新規診断法に関する研究を行う。さらに、発生した生体機能不全を回復させる、あるいは維持するための先進的な装置および手法を含めた医療福祉機器の開発研究も行う。</p> |
| 数理科学科 | <p>「数学に強く、幅広い応用分野に対応でき自ら考える学生を育てる」ことを教育の基本目標とし、実社会で数理科学的手法を実践できる人材を育成していく。</p> <p>具体的には、数学の理論から応用にまで通じて、製造業や情報産業をはじめとする工学分野で現象の解析やシミュレーション、新しいシステムの構築を行える技術者を育てていく。また、数理統計学にも明るく、経済活動や社会現象の解析を通して実社会に貢献できるアナリストの輩出も目指す。あるいは、中学・高校の教員をはじめ、教育出版や教育システムの開発まで広く教育産業に従事する者、さらには、純粋数学もしくは応用数学の研究に携わり、豊かな人類社会を創造するために活躍できる研究者も養成していく。</p> |

3. デザイン工学部

多様な価値観を背景とした現代社会において、意匠力、構想力、計画力、設計力といったデザイン能力に富み、「人」の心に響く魅力あふれたものづくりを志す人材を養成する。

学科

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|---------|--|
| デザイン工学科 | デザイン工学部デザイン工学科は<建築・空間デザイン領域>、<プロダクトデザイン領域>と《メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア分野》と《生産システムデザイン分野》から構成される<エンジニアリングデザイン領域>からなる3つの領域4つの分野の一体的な教育をとおして、社会が求める「あるべき姿（当為）を構築する設計科学技術」を身につけ実際の社会で高付加価値をつけたものづくりに貢献する人材の育成を教育の到達目標とする。 |

別表3

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|---------------|---------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 数理基礎科目 | 数学科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | |
| | 物理学科目 | 物 理 学 | | 2 | |
| | 化学科目 | 化 学 | | 2 | |
| 数理専門基礎科目 | 数学科目 | 微 分 積 分 1 | 3 | | ※ |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | |
| | | 微 分 積 分 2 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | 3 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | 2 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | 線 形 代 数 2 | 2 | | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | 1 | | | |
| | 関 数 論 | 2 | | | |
| | 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | 2 | | | |
| | 数 値 計 算 | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | 2 | | | |
| | 物理学科目 | 基 礎 力 学 | 2 | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | | | ※ |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | 2 | | | | |
| 化学科目 | 基 礎 化 学 B | | | | ※ |
| | 基 礎 化 学 A | | 2 | | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| 化 学 実 験 | | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|--|-----------------------|--------------------------------------|--------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | | 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | 2 2 2 | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | | |
| | | 英語上達 科目II | Reading IIA Reading IIB Writing IIA Writing IIB PresentationII DebateIIA DebateIIB TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | |
| | | 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------|-------------------------|---------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比 較 文 化 論 | | 2 | |
| | | 比 文 化 人 類 学 | | 2 | |
| | | 言 語 文 化 論 | | 2 | |
| | | 日 本 文 化 論 | | 2 | |
| | | 世 界 の 言 語 と 文 化 論 | | 2 | |
| | | ジ ェ ン ダ ー 論 | | 2 | |
| | 歴史学 | ア ジ ア 文 化 論 | | 2 | |
| | | 現 代 史 術 史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 現 科 学 技 術 史 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 芸 術 学 | | 2 | |
| | | 哲 倫 理 学 | 2 | 2 | |
| | | 生 命 倫 理 学 | | 2 | |
| 技 術 者 の 倫 理 学 | | | 2 | | |
| 文学 | 科 学 技 術 倫 理 学 | | 2 | | |
| | 文 学 表 現 論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文 学 論 | | 2 | | |
| | 社 会 心 理 学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 認 知 心 理 学 | | 2 | |
| | | 経 済 地 理 学 | | 2 | |
| | | 社 会 地 理 学 | | 2 | |
| | | 地 域 と 産 業 | | 2 | |
| | 政策学 | 地 域 調 査 入 門 | | 2 | |
| | | 地 域 分 析 入 門 | | 2 | |
| | | 政 策 学 入 門 | | 2 | |
| | 法学 | 現 代 日 本 の 地 方 自 治 論 | | 2 | |
| | | 経 済 政 策 論 | | 2 | |
| | | N P O と 市 民 社 会 | | 2 | |
| | 経済学 | 法 学 入 門 | | 2 | |
| | | 知 的 財 産 法 | | 2 | |
| | | 日 本 国 憲 法 | | 2 | |
| | | 民 法 | | 2 | |
| | | マ ク ロ 経 済 学 | | 2 | |
| | | ミ ク ロ 経 済 学 | | 2 | |
| | 社会学 | 経 済 学 入 門 | | 2 | |
| | | 公 共 経 済 学 | | 2 | |
| 経営学 | 経 済 統 計 学 | | 2 | | |
| | 社 会 学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 社 域 社 会 学 | | 2 | | |
| | 経 営 シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | 企 業 社 会 論 | | 2 | | |
| | 情 報 技 術 と 社 会 情 報 倫 理 論 | | 2 | | |
| | 情 報 社 会 と 情 報 倫 理 論 | | 2 | | |
| | 情 報 ア ク セ シ ビ リ テ ィ 論 | | 2 | | |
| 映像メディア | メ デ ィ ア リ テ ラ シ ュ ー | | 2 | | |
| | メ デ ィ ア 論 | | 2 | | |
| 地域情報 | 地 域 と 情 報 | | 2 | | |
| | 情 報 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 産業社会と 技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 健康の 心身の | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の日 本と世界 | クローバーハリスセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【機械工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | 2 | | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ョ ン | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | | | | |
|------------------|---|-------|----|----|-----|---|---|---|---|---|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | | | | | | |
| 専 門 科 目 | △ | 力 | 学 | の | 基 | 礎 | 1 | | 2 | | |
| | △ | 力 | 学 | の | 基 | 礎 | 2 | | 2 | | |
| | △ | 材 | 料 | 力 | 学 | 学 | 1 | 2 | | | |
| | △ | 材 | 料 | 力 | 学 | 学 | 2 | | 2 | | |
| | △ | 機 | 械 | 動 | 力 | 工 | 学 | 2 | | 2 | |
| | △ | 振 | 機 | 械 | 運 | 動 | 学 | | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 要 | 素 | 要 | 素 | | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 要 | 素 | 要 | 素 | | | 2 | |
| | △ | 設 | 計 | 工 | 学 | 学 | 1 | | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 材 | 料 | 工 | 学 | 1 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 材 | 料 | 工 | 学 | 2 | | 2 | |
| | △ | 先 | 端 | 材 | 料 | 工 | 学 | | | 2 | |
| | △ | 先 | 流 | れ | れ | 学 | 学 | 1 | 2 | | |
| | △ | 流 | 流 | れ | れ | 学 | 学 | 2 | | 2 | |
| | △ | 流 | 体 | 力 | 学 | 学 | 1 | | | 2 | |
| | △ | 流 | 体 | 力 | 学 | 学 | 2 | | | 2 | |
| | △ | 熱 | 力 | 学 | 学 | 学 | 1 | 2 | | | |
| | △ | 熱 | 力 | 学 | 学 | 学 | 2 | | | 2 | |
| | △ | エ | ン | ジ | ン | シ | ス | テ | | 2 | |
| | △ | エ | ン | ジ | ン | シ | ス | テ | | 2 | |
| | △ | 環 | 境 | ・ | エ | ネ | ル | ギ | 一 | 工 | 学 |
| | △ | 機 | 械 | 加 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 加 | 計 | 測 | 工 | 工 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 熱 | 力 | 学 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 制 | 御 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 制 | 御 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 設 | 計 | 製 | 製 | 図 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 設 | 計 | 製 | 製 | 図 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 設 | 計 | 製 | 製 | 図 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | 工 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 応 | 用 | 機 | 械 | 工 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | ゼ | ミ | ナ | ナ | 一 | | 2 | |
| | △ | 機 | 械 | ゼ | ミ | ナ | ナ | 一 | | 2 | |
| | △ | 電 | 機 | 子 | 工 | 工 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | 電 | 機 | 子 | 工 | 工 | 学 | 学 | | 2 | |
| | ○ | 基 | 礎 | 解 | 析 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | ○ | 基 | 礎 | 解 | 析 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | ○ | 計 | 算 | 力 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| | △ | エ | ネ | ル | ギ | 一 | 変 | 換 | 工 | 学 | 学 |
| | △ | 機 | 械 | 工 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| ○ | 図 | 言 | 語 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | | |
| △ | プ | ロ | グ | ラ | ミ | ン | グ | 言 | 語 | 学 | |
| △ | 弾 | 性 | ・ | 強 | 度 | 工 | 学 | | 2 | | |
| △ | 航 | 空 | 術 | 者 | 倫 | 理 | 計 | ス | 学 | 学 | |
| △ | 技 | 術 | 者 | 倫 | 理 | 計 | ス | | 2 | | |
| ○ | 確 | 率 | 統 | ニ | ク | 演 | 習 | 工 | 学 | 学 | |
| △ | メ | カ | ト | ロ | ミ | ン | グ | 演 | 習 | 工 | |
| △ | プ | ロ | グ | ラ | ミ | ン | グ | 演 | 習 | 工 | |
| △ | 生 | 体 | 内 | 輸 | 送 | 工 | 学 | | 2 | | |
| △ | 低 | 機 | 温 | 分 | 子 | 工 | 学 | | 2 | | |
| △ | 機 | 械 | 分 | 子 | 工 | 学 | 学 | | 2 | | |
| △ | 固 | 体 | 力 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | | |
| △ | 卒 | 業 | 研 | 究 | 学 | 学 | 学 | | 4 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|---------------|-------|----|-----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自 由 | |
| 専 門 科 目 | △ 職 業 指 導 | | | 2 | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | ○ 代 数 学 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 B | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 B | | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 | | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 | | | 2 | |
| | ○ 確 率 統 計 学 | | | 2 | |
| | ○ 数 理 統 計 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|--------------------------------------|------------------|---------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理 基礎 科目 | 数 学 科 目 | 数 学 (代 数) | | 2 | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | |
| | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 | | 2 | |
| | 化 学 科 目 | 化 学 | | 2 | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 | 3 | | ※ |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | |
| | | 微 分 積 分 2 | | 2 | |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | 1 | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | | ※ |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 | 2 | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | | | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | | ※ | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B | | | ※ | |
| | 基 礎 化 学 A | | 2 | | |
| | 基 礎 化 学 S | | | ※ | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---|-----------------------|--------------------------------------|--------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | | 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | 2 2 2 | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | | |
| | | 英語上達 科目II | Reading IIA Reading IIB Writing IIA Writing IIB Presentation II Debate IIA Debate IIB TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | |
| | | 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | 1 | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------|-----------------------|---------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比 較 文 化 論 | | 2 | |
| | | 比 文 化 人 類 学 | | 2 | |
| | | 言 語 文 化 論 | | 2 | |
| | | 日 本 文 化 論 | | 2 | |
| | | 世 界 の 言 語 と 文 化 論 | | 2 | |
| | | ジ ェ ン ダ ー 論 | | 2 | |
| | 歴史学 | ア ジ ア 文 化 論 | | 2 | |
| | | 現 代 史 史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 現 科 学 技 術 史 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 芸 術 学 | | 2 | |
| | | 哲 倫 理 学 | | 2 | |
| | | 生 命 倫 理 学 | | 2 | |
| 技 術 者 の 倫 理 学 | | 2 | | | |
| 文学 | 科 学 技 術 倫 理 学 | | 2 | | |
| | 文 学 表 現 法 | | 2 | | |
| 心理学 | 文 学 論 | | 2 | | |
| | 社 会 心 理 学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 社 会 心 理 学 | | 2 | |
| | | 認 知 心 理 学 | | 2 | |
| | | 経 済 地 理 学 | | 2 | |
| | | 社 会 地 理 学 | | 2 | |
| | 政策学 | 地 域 と 産 業 門 入 門 | | 2 | |
| | | 地 域 調 査 入 門 | | 2 | |
| | | 地 域 分 析 入 門 | | 2 | |
| | | 地 域 分 析 入 門 | | 2 | |
| | 法学 | 政 策 学 入 門 | | 2 | |
| | | 現 代 日 本 の 地 方 自 治 論 | | 2 | |
| | | 経 済 政 策 論 | | 2 | |
| | | N P O と 市 民 社 会 | | 2 | |
| | 経済学 | 法 学 入 門 | | 2 | |
| | | 知 的 財 産 法 | | 2 | |
| | | 日 本 国 憲 法 | | 2 | |
| | | 民 法 | | 2 | |
| | 社会学 | マ ク ロ 経 済 学 | | 2 | |
| | | ミ ク ロ 経 済 学 | | 2 | |
| | | 経 済 学 入 門 | | 2 | |
| | | 公 共 経 済 学 | | 2 | |
| 経営学 | 経 済 統 計 学 | | 2 | | |
| | 社 会 学 | | 2 | | |
| | 地 域 社 会 学 | | 2 | | |
| | 社 会 学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 経 営 シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | 企 業 社 会 論 | | 2 | | |
| | 情 報 技 術 と 社 会 | | 2 | | |
| | 情 報 社 会 と 情 報 倫 理 | | 2 | | |
| | 情 報 ア ク セ シ ビ リ テ ィ 論 | | 2 | | |
| | メ デ ィ ア リ テ ラ シ ュ ー | | 2 | | |
| 映 像 メ デ ィ ア 論 | | 2 | | | |
| 地 域 と 情 報 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|---|-----|----------------------------|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 レポートライティング 自己表現とコミュニケーション | 2 | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 科学技術の社会学 | | 2 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 高度情報社会におけるストレス | | 2 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 教育の現代史 教育原論 教育社会学 教育心理学 | | 2 2 2 2 2 | |
| | 現代の 日本と世界 | クローバーハブリセッション論 現代日本の社会 | | 2 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 人間社会と環境問題 環境経済学 生物と環境の保全 生産と消費の環境論 地域環境マネジメント 地域と環境 | | 2 2 2 2 2 2 | |
| | 総合 | 人文社会演習 1 人文社会演習 2 | | 1 1 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【機械機能工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械機能工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|---------------------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 機 械 の 力 学 1 | 2 | | | |
| | △ 機 械 の 力 学 2 | 2 | | | |
| | △ 設 計 の 基 礎 | | 2 | | |
| | △ 材 料 力 学 1 | 2 | | | |
| | △ マテリアル・サイエンス | | 2 | | |
| | △ 機 械 要 素 | | 2 | | |
| | △ 機 械 構 造 学 | | | 2 | |
| | △ 機 械 設 計 1 | 2 | | | |
| | △ 機 械 機 能 工 学 入 門 | 2 | | | |
| | △ 材 料 力 学 2 | | | 2 | |
| | △ 設 計 学 | | | 2 | |
| | △ 加 工 学 | | | 2 | |
| | △ 流 れ の 力 学 1 | 2 | | | |
| | △ 機 械 力 学 工 学 | | | 2 | |
| | △ 塑 性 と 加 工 | | | 2 | |
| | △ 熱 力 学 1 | 2 | | | |
| | △ 計 測 工 学 | | | 2 | |
| | △ 流 れ の 力 学 2 | | | 2 | |
| | △ 生 産 管 理 工 学 | | | 2 | |
| | △ 機 械 設 計 2 | 2 | | | |
| | △ 機 械 機 能 工 学 実 験 | 2 | | | |
| | △ 環 境 調 和 型 エ ネ ル ギ ー 工 学 | | | 2 | |
| | △ 制 御 工 学 | | | 2 | |
| | ○ 数 値 解 析 演 習 | | | 2 | |
| | ○ 数 値 解 析 | | | 2 | |
| | △ システム工学 | | | 2 | |
| | △ 熱 力 学 2 | | | 2 | |
| | △ 機 能 材 料 学 | | | 2 | |
| | △ 基 礎 伝 熱 学 | | | 2 | |
| | △ 電 子 工 学 | | | 2 | |
| | ○ 応 用 解 析 学 | | | 2 | |
| | △ 振 動 工 学 | | | 2 | |
| | △ エネルギ－環境概論 | | | 2 | |
| | ○ 数 値 熱 流 体 解 析 | | | 2 | |
| | △ 生 産 加 工 システム | | | 2 | |
| | ○ メカトロニクス | | | 2 | |
| | △ 創 成 ゼミナール | 2 | | | |
| | △ 材 料 強 度 学 | | | 2 | |
| | △ 制 御 工 学 | | | 2 | |
| | △ 電 気 工 学 | | | 2 | |
| | △ 応 用 機 械 機 能 工 学 実 験 | 2 | | | |
| | △ 機 械 創 成 設 計 演 習 | 2 | | | |
| △ マン・マシンシステム | | | 2 | | |
| △ 燃 焼 工 学 | | | 2 | | |
| △ 生 体 工 学 | | | 2 | | |
| △ ソフトマテリアル工学 | | | 2 | | |
| △ 流 体 力 学 | | | 2 | | |
| △ 自 動 車 工 学 | | | 2 | | |
| △ 冷 凍 ・ 空 調 工 事 | | | 2 | | |
| △ ロボティクス | | | 2 | | |
| △ 卒 業 研 究 | 4 | | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械機能工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 職業指導 | | | 2 | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | ○ 代数 | | | 2 | |
| | ○ 代数 | | | 2 | |
| | ○ 代数特論 | | | 2 | |
| | ○ 幾何学 | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 | | | 2 | |
| | ○ 解析学 | | | 2 | |
| | ○ 解析学 | | | 2 | |
| | ○ 確率統計 | | | 2 | |
| | ○ 数理統計 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 | |
|--------------------------------------|------------------|---------------------|----|----|-----|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 数理 基礎 科目 | 数 学 科 目 | 数 学 (代 数) | | 2 | | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | | |
| | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 | | 2 | | |
| | 化 学 科 目 | 化 学 | | 2 | | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 | | 2 | ※ | |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | 1 | | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | | |
| | | 微 分 積 分 2 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | 1 | | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 2 演 習 | | 2 | | |
| | | 関 数 論 | | 2 | | |
| | | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | | |
| | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 | | | | ※ |
| | | 基 礎 力 学 演 習 | | | | ※ |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | 3 | | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | | |
| 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B | | | | ※ | |
| | 基 礎 化 学 A | 2 | | | | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | | |
| | 化 学 実 験 | 2 | | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|-----------|---------------|--|---|-----------------|------------------|--------------------------------------|--------|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 科 目 | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | 2 | | 2 2 2 2 | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | 2 | | 2 2 | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | | 2 2 2 2 | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | | 2 2 | | |
| | | 英 語 上 達 科 目 II | Reading II A Reading II B Writing II A Writing II B Presentation II Debate II A Debate II B TOEIC II | | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | |
| | | | 連 情 報 科 目 関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | | | 礎 情 報 科 目 基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|-------------|-------------|------------|-----|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | | 文化人類学 | | 2 | | |
| | | 言語文化論 | | 2 | | |
| | | 日本文化論 | | 2 | | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | | |
| | 歴史学 | アジア文化論 | | 2 | | |
| | | 現代史 | | 2 | | |
| | 芸術学 | 現代美術史 | | 2 | | |
| | | 芸術学 | | 2 | | |
| | | 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | |
| | | | 倫理 | | 2 | |
| 生命倫理 | | | | 2 | | |
| 技術者の倫理学 | | | | 2 | | |
| 文学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | | |
| | 文学論 | | 2 | | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 文文学表現法 | | 2 | | |
| | | 心理学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会心理学 | | 2 | | |
| | | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 政策学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | | 社会地理学 | | 2 | | |
| | | 地域と産業 | | 2 | | |
| | | 地域調査入門 | | 2 | | |
| | | 地域分析入門 | | 2 | | |
| | | 政策学入門 | | 2 | | |
| | | 現代日本の地方自治論 | | 2 | | |
| 法学 | 経済政策論 | | 2 | | | |
| | NPOと市民社会 | | 2 | | | |
| | 法学入門 | | 2 | | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | | |
| 経済学 | 民法 | | 2 | | | |
| | マクロ経済学 | | 2 | | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | | |
| | 公共経済学 | | 2 | | | |
| | 経済統計学 | | 2 | | | |
| | 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 地域社会学 | | 2 | | | |
| | 経営システム論 | | 2 | | | |
| | 企業社会学論 | | 2 | | | |
| 社会情報学 | 情報技術と社会学 | | 2 | | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | | |
| | メディアリテラシー論 | | 2 | | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | | |
| | 地域と情報 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|-------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と産 業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 本と世界 | クローバーリセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| 環境経済学 | | | 2 | | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【材料工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ッ プ | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」(2単位)「学外英語検定2」(2単位)「語学集中研修(アーバイン)」(2単位)「語学集中研修(マックマスター)」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------------|---------------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | ○ 材 料 組 織 学 | 2 | | | |
| | △ 材 料 物 理 1 | | 2 | | |
| | △ 材 料 物 理 2 | | 2 | | |
| | △ 材 料 科 学 演 習 | | 2 | | |
| | △ 機 能 材 料 料 料 | | 2 | | |
| | △ 有 機 材 料 料 料 | 2 | | | |
| | △ 環 境 材 料 料 料 | | 2 | | |
| | △ 材 料 物 理 演 習 1 | | 2 | | |
| | △ 鉄 鋼 材 料 料 論 | 2 | | | |
| | △ 非 鉄 金 属 材 料 論 | 2 | | | |
| | △ 分 析 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | △ セ ラ ミ ッ ク ス | 2 | | | |
| | △ 設 計 製 造 図 案 1 | | 2 | | |
| | △ 設 計 製 造 図 案 2 | | 2 | | |
| | △ 複 合 材 料 工 学 | | 2 | | |
| | △ 接 合 材 料 工 学 | | 2 | | |
| | △ 原 子 力 材 料 工 学 | | 2 | | |
| | △ 表 面 分 析 及 び 工 演 習 | | 4 | | |
| | △ 材 料 強 度 工 学 演 習 | | 2 | | |
| | △ 表 面 処 理 工 学 理 論 | | 2 | | |
| | △ 材 料 科 学 1 | | 2 | | |
| | △ 材 料 基 礎 実 験 1 | 2 | | | |
| | △ 材 料 基 礎 実 験 2 | 2 | | | |
| | △ 工 機 械 1 | | 2 | | |
| | △ ゼ ミ ナール 1 | 2 | | | |
| | △ ゼ ミ ナール 2 | 2 | | | |
| | △ 材 料 リ サ イ ク ル 工 学 | | 4 | | |
| | △ 結 晶 工 学 造 形 | | 2 | | |
| | △ 固 体 化 学 工 学 形 成 | | 2 | | |
| | △ 粉 体 加 工 工 学 | | 2 | | |
| | △ 融 体 工 学 | | 2 | | |
| | △ ド ラ イ プ ロ セ ス 工 学 | | 2 | | |
| | △ 材 料 工 学 実 験 1 | 2 | | | |
| | △ 材 料 工 学 実 験 2 | 2 | | | |
| | △ 材 料 選 定 論 | | 2 | | |
| | △ 材 料 機 反 応 史 | | 2 | | |
| | △ 材 料 の 技 術 史 論 | | 4 | | |
| | △ 量 子 物 性 論 | | 2 | | |
| | △ 融 体 物 性 論 | | 2 | | |
| | △ 材 料 工 学 入 門 論 | | 2 | | |
| | △ 材 料 工 学 入 門 論 | | 2 | | |
| | △ 材 料 物 理 演 習 2 | | 2 | | |
| | △ 材 料 評 価 法 入 門 | | 2 | | |
| | △ 材 料 化 学 演 習 1 | | 2 | | |
| | △ 材 料 化 学 演 習 2 | | 2 | | |
| ○ 計 算 材 料 電 気 入 門 学 | | 2 | | | |
| △ 材 料 プ ロ セ ス 工 学 | | 2 | | | |
| △ 半 導 体 材 料 工 学 | | 2 | | | |
| △ 塑 性 加 工 及 び 演 習 | | 4 | | | |
| △ 鉄 鋼 材 料 製 造 法 | | 2 | | | |
| △ 軽 材 金 属 材 料 工 学 | | 2 | | | |
| △ 材 料 科 学 性 質 論 | | 2 | | | |
| △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | | |
| △ エ ネ ルギ ー 工 学 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【材料工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 製 鉄 工 学 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | △ 応 用 有 機 材 学 | | 2 | | |
| | △ 卒 業 業 業 研 指 学 学 究 導 | 4 | | 2 | |
| | ○ 代 数 数 学 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 代 数 数 学 学 特 論 B | | | 2 | |
| | ○ 代 数 数 学 学 特 論 | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 何 学 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 何 学 学 特 論 B | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 何 学 学 特 論 | | | 2 | |
| | ○ 解 析 析 学 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 解 析 析 学 学 特 論 B | | | 2 | |
| | ○ 確 率 率 統 計 論 学 | | | 2 | |
| | ○ 数 理 理 統 計 学 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 | | |
|--------------------------------------|------------------|---|--|---|----------------------------|----------------------|--------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | | |
| 数理 基底 科目 | 数学科目 | 数 学 (代 数) 数 学 (解 析) | | 2 2 | | | |
| | 物理学 科目 | 物 理 学 | | 2 | | | |
| | 化学 科目 | 化 学 | | 2 | | | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 微 分 積 分 1 演 習 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 微 分 積 分 2 微 分 積 分 2 演 習 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 ラ プ ラ ス 変 換 フ ー リ エ 解 析 線 形 代 数 1 線 形 代 数 1 演 習 線 形 代 数 2 線 形 代 数 2 演 習 関 数 論 微 分 方 程 式 偏 微 分 方 程 式 ベ ク ト ル 解 析 数 値 計 算 確 率 と 統 計 1 確 率 と 統 計 2 | | 3 3 2 2 1 2 2 2 2 2 2 | ※ ※ ※ ※ | | |
| | | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 基 礎 力 学 演 習 一 般 力 学 お よ び 演 習 基 礎 熱 統 計 力 学 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 基 礎 電 磁 気 学 基 礎 電 磁 気 学 演 習 物 理 学 実 験 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | 2 | 3 2 2 2 2 2 | ※ ※ | |
| | | | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B 基 礎 化 学 A 基 礎 化 学 S 基 礎 無 機 化 学 基 礎 有 機 化 学 基 礎 生 物 化 学 化 学 実 験 | 2 | 2 2 2 2 | ※ ※ |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|---------------------------------|---------------------------------|---|------------------|--------------------------------------|--------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | | 2 2 2 2 2 | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | 2 2 2 | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | |
| | | Reading II A Reading II B Writing II A Writing II B Presentation II Debate II A Debate II B TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | |
| | | 連情報 科目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | 礎情報 科目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|-------------|------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | |
| | | 文化人類学 | | 2 | |
| | | 言語文化論 | | 2 | |
| | | 日本文化論 | | 2 | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | |
| | 歴史学 | アジアカ文化論 | | 2 | |
| | | 現代史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 現代美術史 | | 2 | |
| | | 芸術学 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | |
| | | 倫理 | | 2 | |
| 生命倫理 | | | 2 | | |
| 技術者の倫理学 | | 2 | | | |
| 文学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | |
| | 文学論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文芸学表現法 | | 2 | | |
| | 社会学心理学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 社会心理学 | | 2 | |
| | | 認知心理学 | | 2 | |
| | | 経済地理学 | | 2 | |
| | | 社会地理学 | | 2 | |
| | | 地域と産業入門 | | 2 | |
| | 政策学 | 地域調査入門 | | 2 | |
| | | 地域分析入門 | | 2 | |
| | | 政策学入門 | | 2 | |
| | 法学 | 現代日本の地方自治論 | | 2 | |
| | | 経済政策論 | | 2 | |
| | | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | 経済学 | 法学入門 | | 2 | |
| | | 知的財産法 | | 2 | |
| | | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | 民法 | | 2 | |
| | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | 社会学 | ミクロ経済学 | | 2 | |
| | | 経済学入門 | | 2 | |
| 公共経済学 | | | 2 | | |
| 経済統計学 | | | 2 | | |
| 社会学 | | | 2 | | |
| 地域社会学 | | | 2 | | |
| 経営学 | | 経営社会学 | | 2 | |
| 社会情報学 | 経企業システム論 | | 2 | | |
| | 経企業社会学論 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー論 | | 2 | | |
| 映像メディア論 | | 2 | | | |
| 地域と情報 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|-------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 本と世界 | クローバーリセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| | | 環境経済学 | | 2 | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【応用化学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| ☆ 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|------------|-------|----|-------------------------|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | ☆無機化学 | 1 | 2 | | |
| | ☆無機化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆有機化学 | 1 | 2 | | |
| | ☆有機化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆有機化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆有機化学 | 2 | 2 | | |
| | △分析化学 | 1 | 2 | | |
| | △分析化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆物理化学 | 1 | 2 | | |
| | ☆物理化学 | 2 | 2 | | |
| | △界面化学 | 2 | 2 | | |
| | △電気化学 | 2 | 2 | | |
| | △化学工学 | 1 | 2 | | |
| | △化学工学 | 2 | 2 | | |
| | △分離工学 | 2 | 2 | | |
| | △セラミックス化学 | 2 | 2 | | |
| | △工業機械材料概論 | 2 | 2 | | |
| | △無機材料化学 | 2 | 2 | | |
| | △有機マテリアル化学 | 2 | 2 | | |
| | △高分子合成化学 | 2 | 2 | | |
| | △高分子物性学 | 2 | 2 | | |
| | △生物化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆生物化学 | 1 | 2 | | |
| | ☆生物化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆応用生物化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆光分化学 | 2 | 2 | | |
| | ☆光分化学 | 2 | 2 | | |
| | △有機構造決定学 | 2 | 2 | | |
| | ☆環境化学 | 2 | 2 | | |
| | △知的工業総論 | 2 | 2 | | |
| | △知的財産権学 | 2 | 2 | | |
| | ☆資源地球化学 | 2 | 2 | | |
| ☆応用物理化学 | 2 | 2 | | | |
| ☆ケミカルバイオロジー基礎 | 2 | 2 | | | |
| △分析化学実験 | 3 | 3 | | | |
| △応用化学実験 | 3 | 3 | | | |
| ☆物理化学実験 | 2 | 2 | | | |
| ☆有機化学実験 | 2 | 2 | | | |
| △生物化学実験 | 2 | 2 | | | |
| ☆地質・鉱物化学実験 | 1 | 1 | | | |
| ☆応用化学ゼミナール1 | 2 | 2 | | | |
| ☆応用化学ゼミナール2 | 2 | 2 | | | |
| △卒業研究 | 4 | 4 | | | |
| △職業指導 | | | 2 | 「職業指導」は教職課程における必修科目とする。 | |

(備 考)

授業科目中の☆印は教職に関する教科専門科目「理科」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 | |
|-------------------------|---------------|---------------------|----|----|-----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 数理基礎科目 | 数学科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | | |
| | 物理学科目 | 物 理 学 | | 2 | | |
| | 化学科目 | 化 学 | | 2 | | |
| 数理専門基礎科目 | 数学科目 | 微 分 積 分 1 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | 3 | | | |
| | | 微 分 積 分 2 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | 3 | | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 | 2 | | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | | |
| | 線 形 代 数 2 | 2 | | | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | | |
| | 微 分 方 程 式 | 2 | | | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | | |
| | 物理学科目 | 基 礎 力 学 | 2 | | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | | | ※ | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | | 2 | | | |
| 化学科目 | 基 礎 化 学 B | 2 | | | | |
| | 基 礎 化 学 A | | | | ※ | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---|-----------------|--------------------------------------|-----|--------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | 2 | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | 2 | 2 2 | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | | |
| | | 英語上達科目II Reading II A Reading II B Writing II A Writing II B Presentation II Debate II A Debate II B TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 連情報 科目関 | Java入門 C言語入門 | 3 | 3 | | |
| | | 情 報 科 目 基 | 礎情報 科目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|-------------|------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | |
| | | 文化人類学 | | 2 | |
| | | 言語文化論 | | 2 | |
| | | 日本文化論 | | 2 | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | |
| | 歴史学 | 現代史 | | 2 | |
| | | 科学技術史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 芸術学 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | |
| | | 倫理 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | | 2 | |
| 文学 | 技術者の倫理学 | 2 | | | |
| | 科学技術倫理学 | 2 | | | |
| 文学 | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 認知心理学 | | 2 | |
| | | 経済地理学 | | 2 | |
| | | 社会地理学 | | 2 | |
| | | 地域と産業 | | 2 | |
| | 政策学 | 地域調査入門 | | 2 | |
| | | 地域分析入門 | | 2 | |
| | | 政策学入門 | | 2 | |
| | 法学 | 現代日本の地方自治論 | | 2 | |
| | | 経済政策論 | | 2 | |
| | | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | 経済学 | 法学入門 | | 2 | |
| | | 知的財産法 | | 2 | |
| | | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | 民法 | | 2 | |
| | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | | ミクロ経済学 | | 2 | |
| | 社会学 | 経済学入門 | | 2 | |
| | | 公共経済学 | | 2 | |
| 経済統計学 | | | 2 | | |
| 社会学 | | | 2 | | |
| 地域社会学 | | | 2 | | |
| 経営学 | | 経営システム論 | | 2 | |
| 社会情報学 | 企業社会学論 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| 地域と情報 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 日本と世界 | クローバーセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| | | 環境経済学 | | 2 | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【電気工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ョ ン | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | | |
|------------------|----|-------|----|----|-----|---|---|---|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | | | | |
| 専 門 科 目 | △電 | 気 | 回 | 路 | 1 | 2 | | | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 2 | 2 | | | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 3 | 2 | | | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 4 | | 2 | | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 演 | 習 | 1 | 2 | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 演 | 習 | 2 | 1 | |
| | △電 | 気 | 回 | 路 | 演 | 習 | 3 | 1 | |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 学 | 1 | 2 | |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 学 | 2 | 2 | |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 学 | 3 | 2 | |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 演 | 習 | 1 | 1 |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 演 | 習 | 2 | 1 |
| | △電 | 気 | 磁 | 気 | 学 | 演 | 習 | 3 | 1 |
| | △電 | 子 | 回 | 路 | | | 1 | 2 | |
| | △電 | 子 | 回 | 路 | | | 2 | 2 | |
| | △電 | シ | ス | テ | ム | 数 | 基 | 礎 | 論 |
| | △デ | ィ | ジ | タ | ル | 計 | 測 | 回 | 測 |
| | △電 | | 子 | 計 | 計 | 数 | | | 学 |
| | ○応 | | 用 | 数 | | | | | 学 |
| | △電 | 気 | 機 | 器 | 基 | 礎 | 論 | | 1 |
| | △電 | 気 | 機 | 器 | 基 | 礎 | 論 | | 2 |
| | △パ | ワ | エ | レ | ク | ト | ロ | ニ | ク |
| | △電 | 力 | 系 | 統 | 工 | 学 | | | 1 |
| | △電 | 力 | 系 | 統 | 工 | 学 | | | 2 |
| | △発 | 変 | 電 | | 工 | 学 | | | 2 |
| | △電 | 熱 | 照 | 明 | 工 | 学 | | | 2 |
| | △高 | 電 | 圧 | | 工 | 学 | | | 2 |
| | △新 | エ | ネ | ル | ギ | 一 | 発 | 電 | 概 |
| | △電 | 気 | 機 | 器 | 設 | 計 | 製 | 図 | 析 |
| | ○線 | 形 | シ | ス | テ | ム | 解 | | 2 |
| | △制 | | 御 | | 工 | | | | 2 |
| | △シ | ス | テ | ム | 制 | | | | 2 |
| | △デ | ィ | ジ | タ | ル | 計 | 測 | 制 | 御 |
| | ○マ | ィ | ク | ロ | コ | ン | ピ | ユ | ー |
| | ○マ | ィ | ク | ロ | コ | ン | ピ | ユ | ー |
| | △メ | カ | ト | ロ | ニ | ク | ス | | 2 |
| | △ロ | ボ | テ | ィ | ク | ス | | | 2 |
| | △電 | 気 | シ | ス | テ | ム | 設 | | 2 |
| | △電 | 子 | 基 | 礎 | 物 | | | | 2 |
| | △電 | 子 | 物 | 性 | 論 | | | | 2 |
| △電 | 子 | デ | バ | ィ | ス | | | 2 | |
| △量 | 子 | ビ | ー | ム | 応 | 用 | 工 | 学 | |
| △電 | | 気 | 材 | | | | | 2 | |
| △光 | エ | レ | ク | ト | ロ | ニ | ク | ス | |
| △電 | | 波 | | 工 | | | | 2 | |
| 電 | 気 | 工 | 学 | 入 | 門 | | | 2 | |
| 製 | 作 | 実 | 験 | 2 | | | | 2 | |
| 電 | 気 | 技 | 術 | 英 | | | | 2 | |
| 電 | 気 | 工 | 学 | ゼ | ミ | ナ | ー | 1 | |
| △無 | | 線 | | 機 | | | | 2 | |
| △電 | | 波 | | 法 | | | | 2 | |
| △電 | | 気 | | 法 | | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|---|---|---|---|-------|----|----|-----|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ | 製 | 作 | 実 | 験 | 1 | | |
| | △ | 電 | 気 | 実 | 験 | 1 | 1 | |
| | △ | 電 | 気 | 実 | 験 | 2 | | |
| | △ | 電 | 気 | 実 | 験 | 3 | 1 | |
| | △ | 電 | 気 | 実 | 験 | 4 | 2 | |
| | △ | 卒 | 業 | | 研 | 究 | 4 | |
| | △ | 職 | 業 | | 指 | 導 | | 2 |
| | ○ | 代 | 数 | | 学 | A | | 2 |
| | ○ | 代 | 数 | | 学 | B | | 2 |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | 特 | 論 | | 2 |
| | ○ | 幾 | 何 | | 学 | A | | 2 |
| | ○ | 幾 | 何 | | 学 | B | | 2 |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | 特 | 論 | | 2 |
| | ○ | 解 | 析 | | 学 | A | | 2 |
| | ○ | 解 | 析 | | 学 | B | | 2 |
| | ○ | 確 | | 率 | | 論 | | 2 |
| ○ | 数 | 理 | 統 | 計 | 学 | | 2 | |

「職業指導」以下に列記してある科目は、
教職課程における必修科目とする。
ただし、代数学特論、幾何学特論のみ
選択科目とする。

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|---------------|---------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理基礎科目 | 数学科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | |
| | 物理学科目 | 物 理 学 | | 2 | |
| | 化学科目 | 化 学 | | 2 | |
| 数理専門基礎科目 | 数学科目 | 微 分 積 分 1 | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | 1 | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 2 | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | 1 | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | | ※ |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | 線 形 代 数 2 | 2 | | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物理学科目 | 基 礎 力 学 | | | ※ |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | | ※ | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | 3 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化学科目 | 基 礎 化 学 B | | 2 | | |
| | 基 礎 化 学 A | | | ※ | |
| | 基 礎 化 学 S | | | ※ | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---|----------------|--------------------------------------|-----|--------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | | 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | 2 2 2 | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | | |
| | | 英語上達科目II Reading II A Reading II B Writing II A Writing II B Presentation II Debate II A Debate II B TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|-------------|--------|-------------|------------|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | | 文化人類学 | | 2 | | |
| | | 言語文化論 | | 2 | | |
| | | 日本文化論 | | 2 | | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | | |
| | 歴史学 | 現代史 | 科学技術史 | | 2 | |
| | | | 芸術学 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 哲学 | 倫理学 | | 2 | |
| | | | 生命倫理 | | 2 | |
| | | | 技術者の倫理学 | 2 | | |
| | | | 科学技術倫理 | | 2 | |
| 文学 | 文学 | 学術論 | | 2 | | |
| | | 文芸表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | 認知心理学 | | 2 | | |
| | | 認知心理学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | | 社会地理学 | | 2 | | |
| | | 地域と産業 | | 2 | | |
| | | 地域調査入門 | | 2 | | |
| | 政策学 | 政策学 | 地域分析入門 | | 2 | |
| | | | 政策学入門 | | 2 | |
| | | | 現代日本の地方自治論 | | 2 | |
| | 法学 | 法学 | 経済政策 | | 2 | |
| | | | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | | | 法學入門 | | 2 | |
| | 経済学 | 経済学 | 知的財産法 | | 2 | |
| | | | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | | 民法 | | 2 | |
| | | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | 社会学 | 社会学 | ミクロ経済学 | | 2 | |
| | | | 経済学入門 | | 2 | |
| | | | 公共経済学 | | 2 | |
| | | | 経済統計学 | | 2 | |
| 地域社会学 | | | | 2 | | |
| 地域社会学 | | | | 2 | | |
| 経営学 | 経営学 | 経営システム論 | | 2 | | |
| | | 企業社会学論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 社会情報学 | 情報技術と社会 | | 2 | | |
| | | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| | | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | | 地域と情報 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|---------------|---|-----|---------------------------------|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 レポートライティング 自己表現とコミュニケーション | 2 | 2 2 | |
| | 産業技術 社会と | 福祉と技術 科学技術の社会学 | | 2 2 | |
| | 健康の 心身の | 現代人の精神衛生 高度情報社会におけるストレス | | 2 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 教育の現代史 教育原論 教育社会学 教育心理学 | | 2 2 2 2 2 | |
| | 現代の 本と世界の日 | グローバル化とリセッション論 現代日本の社会 | | 2 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 人間社会と環境問題 環境経済学 生物と環境の保全 生産と消費の環境論 地域環境マネジメント 地域と環境 | | 2 2 2 2 2 2 2 | |
| | 総合 | 人文社会演習 1 人文社会演習 2 | | 1 1 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【通信工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健 康 科 学 論 A | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 B | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 社 会 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 健 康 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 生 理 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 心 理 学 | | 2 | | |
| | エ ク サ サ イ ズ 演 習 (基 礎) | | 2 | | |
| | エ ク サ サ イ ズ 演 習 (応 用) | | 2 | | |
| | 体 格 ・ 体 力 と 健 康 (演 習) | | 2 | | |
| | ヘ ル ス コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ 演 習 | | 2 | | |
| 身 体 運 動 の バ イ オ メ カ ニ ク ス | | 2 | | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウ ェ ル ネ ス ・ ス ポ ー ツ (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | ウ ェ ル ネ ス ・ ス ポ ー ツ (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | テ ニ ス (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | テ ニ ス (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | バ ド ミ ン ト ン (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | バ ド ミ ン ト ン (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | ス キ ー (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | ス キ ー (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | 軟 式 野 球 (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | 軟 式 野 球 (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | ソ フ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | ソ フ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | サ ッ カ ー (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | サ ッ カ ー (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | フ ッ ト サ ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | フ ッ ト サ ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | 卓 球 (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | 卓 球 (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | バ ス ケ ッ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | バ ス ケ ッ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| | バ レ ー ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | |
| | バ レ ー ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | |
| フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | | |
| フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | | |
| ゴ ル フ (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | | |
| ゴ ル フ (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | | |
| ヘ ル ス リ テ ラ シ ー & ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ョ ン | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △回路理論 | 1 | 2 | | |
| | △回路理論 | 2 | 2 | | |
| | △回路理論 | 3 | 2 | | |
| | △回路理論演習 | 2 | 2 | | |
| | △電子回路1及び演習 | 4 | 4 | | |
| | △電子回路2 | 2 | 2 | | |
| | △電気磁気学1及び演習 | 4 | 4 | | |
| | △電気磁気学2 | 2 | 2 | | |
| | △電気磁気学3 | 2 | 2 | | |
| | △論理設計 | 計 | 2 | | |
| | □情報処理論1 | 1 | 2 | | |
| | □情報処理論2 | 2 | 2 | | |
| | □情報処理論3 | 3 | 2 | | |
| | □情報処理論4 | 4 | 2 | | |
| | □マイクログンピュータ | タ | 2 | | |
| | □数値解析 | 析 | 2 | | |
| | □生体情報工学 | 学 | 2 | | |
| | □情報理論1 | 1 | 2 | | |
| | □情報理論2 | 2 | 2 | | |
| | ○情報通信数学1 | 1 | 2 | | |
| | ○情報通信数学2 | 2 | 2 | | |
| | △通信方式 | 式 | 2 | | |
| | □情報通信ネットワーク1 | 1 | 2 | | |
| | □情報通信ネットワーク2 | 2 | 2 | | |
| | □情報通信ネットワーク3 | 3 | 2 | | |
| | △光エレクトロニクス | ス | 2 | | |
| | △光通信工学 | 学 | 2 | | |
| | □移動通信工学 | 学 | 2 | | |
| | △マイクログ波工学 | 学 | 2 | | |
| | △宇宙通信工学 | 学 | 2 | | |
| | □通信システム設計論 | 論 | 2 | | |
| | △通信計測 | 測 | 2 | | |
| | ○ディジタル信号処理1 | 1 | 2 | | |
| | ○ディジタル信号処理2 | 2 | 2 | | |
| | □計測システム工学 | 学 | 2 | | |
| | □マルチメディアシステム工学1 | 1 | 2 | | |
| | □マルチメディアシステム工学2 | 2 | 2 | | |
| | △電波工学1 | 1 | 2 | | |
| | △電波工学2 | 2 | 2 | | |
| | △通信特論1 | 1 | 1 | | |
| △通信特論2 | 2 | 1 | | | |
| △情報工学特論 | 特 | 1 | | | |
| △電波法 | 法 | 2 | | | |
| △通信法 | 法 | 2 | | | |
| △無線機 | 機 | 2 | | | |
| △製作実験1 | 1 | 1 | | | |
| △製作実験2 | 2 | 1 | | | |
| △製作実験3 | 3 | 1 | | | |
| △製作実験4 | 4 | 1 | | | |
| △ソフトウェア演習1 | 1 | 1 | | | |
| △ソフトウェア演習2 | 2 | 1 | | | |
| △ソフトウェア演習3 | 3 | 1 | | | |
| △ソフトウェア演習4 | 4 | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【通信工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △通信工学実験 | 2 | | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | △通信工学実験 | 2 | | | |
| | △通信ゼミ | 1 | | | |
| | △通信工学実習 | | 1 | | |
| | △卒業業務研究 | 4 | | | |
| | △職業指導 | | | 2 | |
| | ○代数学 | | | 2 | |
| | ○代数学 | | | 2 | |
| | ○代数学特論 | | | 2 | |
| | ○幾何学特論A | | | 2 | |
| | ○幾何学特論B | | | 2 | |
| | ○幾何学特論A | | | 2 | |
| | ○幾何学特論B | | | 2 | |
| | ○解析学 | | | 2 | |
| | ○解析学 | | | 2 | |
| | ○確率統計学 | | | 2 | |
| ○情報社会と情報倫理 | | | 2 | | |
| □情報社会と情報倫理 | | | 2 | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、□印は「情報」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|---------------------|---------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理基礎科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | | |
| | 数 学 (解 析) | | 2 | | |
| | 物 理 学 | | 2 | | |
| | 化 学 | | 2 | | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 微 分 積 分 1 | 2 | | | ※ |
| | 微 分 積 分 1 演 習 | | 1 | | |
| | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | | |
| | 微 分 積 分 2 | | 2 | | |
| | 微 分 積 分 2 演 習 | | 1 | | |
| | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | | |
| | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 1 | 2 | | | |
| | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物理学科目 | 基 礎 力 学 | 2 | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | | 2 | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | | 2 | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化学科目 | 基 礎 化 学 B | | | | ※ |
| | 基 礎 化 学 A | 2 | | | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---|------------------|--------|--------------------------------------|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | 2 | | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | 2 | | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | | 2 2 | | |
| | | 英 語 上 達 科 目 II | Reading IIA Reading IIB Writing IIA Writing IIB Presentation II Debate IIA Debate IIB TOEIC II | | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | |
| | | | 連情 科報 目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | 礎情 科報 目基 | | | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------|-----------------------|---------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比 較 文 化 論 | | 2 | |
| | | 比 文 化 人 類 学 | | 2 | |
| | | 言 語 文 化 論 | | 2 | |
| | | 日 本 文 化 論 | | 2 | |
| | | 世 界 の 言 語 と 文 化 論 | | 2 | |
| | | ジ ェ ン ダ ー 文 化 論 | | 2 | |
| | 歴史学 | 現 科 学 技 術 史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 芸 術 学 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 哲 学 | | 2 | |
| | | 倫 理 学 | | 2 | |
| | | 生 命 倫 理 学 | | 2 | |
| | 文学 | 技 術 者 の 倫 理 学 | 2 | | |
| 科 学 技 術 倫 理 学 | | 2 | | | |
| 文学 | 文 学 論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文 学 表 現 法 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 社 会 心 理 学 | | 2 | |
| | | 地 域 心 理 学 | | 2 | |
| | | 地 域 調 査 入 門 | | 2 | |
| | | 地 域 分 析 入 門 | | 2 | |
| | 政策学 | 経 済 地 理 学 | | 2 | |
| | | 社 会 地 理 学 | | 2 | |
| | | 地 域 と 産 業 | | 2 | |
| | 法学 | 政 策 学 入 門 | | 2 | |
| | | 現 代 日 本 の 地 方 自 治 論 | | 2 | |
| | | 経 済 政 策 論 | | 2 | |
| | 経済学 | N P O と 市 民 社 会 | | 2 | |
| | | 法 学 入 門 | | 2 | |
| 知 的 財 産 法 | | | 2 | | |
| 社会学 | 日 本 国 憲 法 | | 2 | | |
| | 民 法 | | 2 | | |
| | 民 法 | | 2 | | |
| 経営学 | マ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| | ミ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| | 経 済 学 入 門 学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 公 共 経 済 学 | | 2 | | |
| | 経 済 統 計 学 | | 2 | | |
| | 社 会 学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 社 会 学 | | 2 | | |
| | 地 域 社 会 学 | | 2 | | |
| | 社 会 学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 経 営 学 | | 2 | | |
| | 企 業 シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | 企 業 社 会 論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情 報 技 術 と 社 会 | | 2 | | |
| | 情 報 社 会 と 情 報 倫 理 | | 2 | | |
| | 情 報 ア ク セ シ ビ リ テ ィ 論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | メ デ ィ ア リ テ ラ シ | | 2 | | |
| | 映 像 メ デ ィ ア 論 | | 2 | | |
| | 地 域 と 情 報 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|-----------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の日本と世界 | クローハブ・リセプション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| | | 環境経済学 | | 2 | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【電子工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|----------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | | 2 | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ョ ン | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電子工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------------|---------------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 電 子 工 学 一 般 | 2 | | | |
| | △ コンピュータアーキテクチャ | | 2 | | |
| | △ 電 気 回 路 | 2 | | | |
| | △ 電 気 回 路 | 2 | | | |
| | △ 電 気 回 路 | 2 | | | |
| | △ 電 気 回 路 演 習 | 1 | | | |
| | △ 電 気 回 路 演 習 | 2 | | | |
| | △ 電 磁 気 学 | 1 | | | |
| | △ 電 磁 気 学 | 2 | | | |
| | △ 電 磁 気 学 | 3 | | | |
| | △ 電 磁 気 学 演 習 | 1 | | | |
| | △ 電 磁 気 学 演 習 | 2 | | | |
| | ○ 電 気 数 学 | 1 | | | |
| | ○ 電 気 数 学 | 2 | | | |
| | △ 電 子 物 性 基 礎 | | | 2 | |
| | △ 電 子 物 性 性 質 | | | 2 | |
| | △ 電 子 物 力 工 学 | | | 2 | |
| | △ 量 子 御 理 学 論 | | | 2 | |
| | △ 情 報 工 学 | | | 2 | |
| | △ 半 導 体 工 学 | | | 2 | |
| | △ 集 積 回 路 工 学 | | | 2 | |
| | △ 音 響 シ ス テ ム | | | 2 | |
| | △ 光 エレクトロニクス | | | 2 | |
| | △ アナログ電子回路 | | | 2 | |
| | △ デジタル電子回路 | | | 2 | |
| | △ デジタル電子回路 | | | 2 | |
| | △ 電 子 材 料 工 学 | | | 2 | |
| | △ 電 子 材 料 工 学 | | | 2 | |
| | ○ 信 号 処 理 回 路 | | | 2 | |
| | △ 電 波 法 規 令 | | | 2 | |
| | △ 通 信 法 規 令 | | | 2 | |
| | △ 先 端 技 術 実 験 | | | 1 | |
| | △ 電 子 工 学 基 礎 実 験 | 2 | | | |
| | △ 電 子 工 学 コ ー ス 実 験 | 2 | | | |
| | △ 電 子 工 学 コ ー ス 実 験 | 2 | | | |
| | △ 電 子 工 学 ゼ ミ ナ ー | 2 | | | |
| △ 情 報 通 信 シ ス テ ム | | | 2 | | |
| △ メディアカルエレクトロニクス | | | 2 | | |
| △ 電 子 材 料 基 礎 工 学 | | | 2 | | |
| △ 電 気 電 子 化 工 学 | | | 2 | | |
| △ 情 報 電 子 送 信 回 路 | | | 2 | | |
| △ 信 頼 性 品 質 工 学 | | | 2 | | |
| △ 電 子 デ バ イ ス 工 学 | | | 2 | | |
| △ 電 子 材 料 評 価 工 学 | | | 2 | | |
| △ 電 卒 業 研 究 | 4 | | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電子工学科】

| | 授 業 科 目 名 | | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------|---|---|---|-------|----|----|--|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ | 職 | 業 | 指 | 導 | | 2 | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | A | | 2 | |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | B | | 2 | |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | 特 | 論 | 2 | |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | A | 論 | 2 | |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | B | 論 | 2 | |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | 特 | 論 | 2 | |
| | ○ | 解 | 析 | 学 | A | 論 | 2 | |
| | ○ | 解 | 析 | 学 | B | 論 | 2 | |
| | ○ | 確 | 率 | 統 | 論 | 学 | 2 | |
| ○ | 数 | 理 | 計 | 学 | 論 | 2 | | |

(備考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|---------------|---------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理 基礎 科目 | 数 学 科 目 | 数 学 (代 数) | | 2 | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | |
| | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 | | 2 | |
| | 化 学 科 目 | 化 学 | | 2 | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 | 3 | | ※ |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | |
| | | 微 分 積 分 2 | 2 | | ※ |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | 3 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 | | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | | | ※ |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | 3 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B | | 2 | | |
| | 基 礎 化 学 A | | | | ※ |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------------|--|---|-----|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W | | 2 | | |
| | | 英語L & S | | 2 | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | | | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | | 2 | |
| | | | | 2 | | |
| 英 語 上 達 科 目 II | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | | | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| | | | | 2 | | |
| 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 | | 3 | | |
| | | C言語入門 | | 3 | | |
| | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ | | 1 | | |
| | | 情報処理概論 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|-------------|------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | |
| | | 文化人類学 | | 2 | |
| | | 言語文化論 | | 2 | |
| | | 日本文化論 | | 2 | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | |
| | 歴史学 | 現代史 | | 2 | |
| | | 科学技術史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 芸術学 | | 2 | |
| | | 哲学・倫理学 | | 2 | |
| | 文学 | 哲学 | | 2 | |
| | | 倫理 | | 2 | |
| 生命倫理 | | | 2 | | |
| 技術者の倫理学 | | 2 | 2 | | |
| 心理学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | |
| | 文学論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文学表現法 | | 2 | | |
| | 社会心理学 | | 2 | | |
| 心理学 | 認知心理学 | | 2 | | |
| | 社会心理学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 経済地理学 | | 2 | |
| | | 社会地理学 | | 2 | |
| | | 地域と産業 | | 2 | |
| | | 地域調査入門 | | 2 | |
| | | 地域分析入門 | | 2 | |
| | 政策学 | 政策学入門 | | 2 | |
| | | 現代日本の地方自治論 | | 2 | |
| | | 経済政策論 | | 2 | |
| | 法学 | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | | 法学入門 | | 2 | |
| | | 知的財産法 | | 2 | |
| | 経済学 | 日本国憲法 | | 2 | |
| 民法 | | | 2 | | |
| 民法 | | | 2 | | |
| 社会学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| 経営学 | 経済統計学 | | 2 | | |
| | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 経営学 | | 2 | | |
| | 企業システム論 | | 2 | | |
| | 企業社会論 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | メディア論 | | 2 | | |
| | 映像メディア | | 2 | | |
| | 地域と情報 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教 育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の日 本と世界 | クローハ・リセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環 境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| 環境経済学 | | | 2 | | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総 合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【土木工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|--------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | ○ 測量学 | | 2 | | |
| | △ 土木の歴史 | | 2 | | |
| | ○ 土木情報処理論 | | 2 | | |
| | △ 土木構造物概論 | | 2 | | |
| | △ 地圏の科学 | | 2 | | |
| | △ 環境の科学 | | 2 | | |
| | △ 流れの力学 | | 2 | | |
| | △ 地域計画演習 | | 2 | | |
| | △ コンクリート構造学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ コンクリート構造学Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 水理学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 水理学Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 設計学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 設計学Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 構造力学演習Ⅰ | | 1 | | |
| | △ 土木ゼミナールⅠ | | 1 | | |
| | △ 土木実験Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 土木実験Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 都市防災工学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ プロジェクト評価Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 都市の計画学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 材料の工学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 測量学実習Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 測量学実習Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 土木の力学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 鋼構造物Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 交通システム計画Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 土質力学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 土質力学Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 地盤工学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 環境の工学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 都市環境工学Ⅰ | | 2 | | |
| | ○ 応用統計学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ 地震防災工学Ⅰ | | 2 | | |
| | △ シビックデザインⅠ | | 2 | | |
| | △ 水圏防災工学Ⅰ | | 2 | | |
| | ○ 環境システム工学Ⅰ | | 2 | | |
| | ○ 土木解析学Ⅰ | | 2 | | |
| | ○ 土木解析学Ⅱ | | 2 | | |
| | △ 土木計画学Ⅰ | | 2 | | |
| △ 地圏防災工学Ⅰ | | 2 | | | |
| △ 土木工学総合講義Ⅰ | 2 | | | | |
| △ 土木工学総合講義Ⅱ | 1 | | | | |
| △ 景観工学Ⅰ | | 2 | | | |
| △ 整備制度論Ⅰ | | 2 | | | |
| △ マーケティング・サイエンスⅠ | | 2 | | | |
| △ 地形情報工学Ⅰ | | 2 | | | |
| △ ヒューマンエコロジⅠ | | 2 | | | |
| △ 地理情報システムⅠ | | 2 | | | |
| △ 導入ゼミナールⅠ | 1 | | | | |
| △ 都市整備備学Ⅰ | | 2 | | | |
| △ アプリケーション・インボリューションⅠ | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | 維持管理工学 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | キャリア | | 1 | | |
| | 公共経済 | | 2 | | |
| | 交通工学 | | 2 | | |
| | プレゼンテーション演習 | | 1 | | |
| | デザイン | | 1 | | |
| | インターンシップ1 | | 1 | | |
| | インターンシップ2 | | 1 | | |
| | 総合演習 | | 1 | | |
| | 調査分析演習 | | 1 | | |
| | 環境計画演習 | | 2 | | |
| | 地理情報システム演習 | | 2 | | |
| | 社会調査演習 | | 2 | | |
| | △マテリアルデザイン | | 2 | | |
| | △土木設計演習1 | | 1 | | |
| | △土木設計演習2 | | 1 | | |
| | △地下施設工学 | | 2 | | |
| | プログラムミシグ演習 | | 2 | | |
| | 学外体験 | | 2 | | |
| | 卒業業務研究指導 | 4 | | 2 | |
| | ○代数学特論A | | | 2 | |
| | ○代数学特論B | | | 2 | |
| | ○代数学特論A | | | 2 | |
| | ○代数学特論B | | | 2 | |
| | ○代数学特論A | | | 2 | |
| | ○代数学特論B | | | 2 | |
| | ○代数学特論A | | | 2 | |
| ○代数学特論B | | | 2 | | |
| ○代数学特論A | | | 2 | | |
| ○代数学特論B | | | 2 | | |
| ○代数学特論A | | | 2 | | |
| ○代数学特論B | | | 2 | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|---------------|---------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理基礎科目 | 数学科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | |
| | 物理学科目 | 物 理 学 | | 2 | |
| | 化学科目 | 化 学 | | 2 | |
| 数理専門基礎科目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | 3 | |
| | | 微 分 積 分 2 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | | ※ |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | 3 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物理学科目 | 基 礎 力 学 | | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | | | ※ |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | 3 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化学科目 | 基 礎 化 学 B | | 2 | | |
| | 基 礎 化 学 A | | | | ※ |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------|-----------------------------------|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W | | 2 | | |
| | | 英語L & S | | 2 | | |
| | 英 語 上 達 科 目 II | | 【Reading & Writing】 | | | |
| | | | Reading & Writing I | | 2 | |
| | | | Reading IA | | 2 | |
| | | | Reading IB | | 2 | |
| | | | Writing IA | | 2 | |
| | | | Writing IB | | 2 | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | 2 | |
| English Communication I | | | | 2 | | |
| Presentation I | | | | 2 | | |
| 英 語 上 達 科 目 II | | 【総 合】 | | | | |
| | | 英語総合IA | | 2 | | |
| | | 英語総合IB | | 2 | | |
| | | 工学英語IA | | 2 | | |
| | | 工学英語IB | | 2 | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 | | | | |
| | | TOEIC IA | | 2 | | |
| | | TOEIC IB | | 2 | | |
| | | Reading II A | | 2 | | |
| | | Reading II B | | 2 | | |
| Writing II A | | 2 | | | | |
| Writing II B | | 2 | | | | |
| Presentation II | | 2 | | | | |
| Debate II A | | 2 | | | | |
| Debate II B | | 2 | | | | |
| TOEIC II | | 2 | | | | |
| 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 | | 3 | | |
| | | C言語入門 | | 3 | | |
| | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ | | 1 | | |
| | | 情報処理概論 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|-------------|-----------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | |
| | | 文化人類学 | | 2 | |
| | | 言語文化論 | | 2 | |
| | | 日本文化論 | | 2 | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | |
| | 歴史学 | 現代史 | | 2 | |
| | | 科学技術史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 芸術学 | | 2 | |
| | 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | |
| | | 倫理 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | | 2 | |
| 技術者の倫理学 | | | 2 | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文芸表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 経済地理学 | | 2 | |
| | | 社会地理学 | | 2 | |
| | | 地域と産業 | | 2 | |
| | | 地域調査入門 | | 2 | |
| | 政策学 | 政策学入門 | | 2 | |
| | | 現代日本の地方自治 | | 2 | |
| | | 経済政策論 | | 2 | |
| | 法学 | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | | 法学入門 | | 2 | |
| | | 知的財産法 | | 2 | |
| | 経済学 | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | 民法 | | 2 | |
| | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | | ミクロ経済学 | | 2 | |
| | 社会学 | 経済学入門 | | 2 | |
| | | 公共経済学 | | 2 | |
| | | 経済統計 | | 2 | |
| | | 地域社会学 | | 2 | |
| 経営学 | 地域社会学 | | 2 | | |
| | 経営システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 企業社会学論 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| 地域と情報 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 日本と世界 | クローハ・リセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| | | 人間社会と環境問題 | | 2 | |
| | | 環境経済学 | | 2 | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【建築学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ナ シ ッ プ | | 2 | | |

※学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|--------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 建築史 | | 2 | | |
| | △ 日本建築史 | 2 | | | |
| | △ 居住空間 | | 2 | | |
| | △ 近代建築と技術 | | 2 | | |
| | ○ 建築製図 | 2 | | | |
| | △ 建築の形態と空間 | 2 | | | |
| | △ 建築環境工学の基礎 | 2 | | | |
| | ○ 力学 | | 2 | | |
| | ○ 構造力学 | 2 | | | |
| | ○ 構造力学演習 | | 1 | | |
| | △ 材料力学演習 | | 2 | | |
| | △ 材料力学演習 | | 1 | | |
| | ○ 構造解析 | | 2 | | |
| | ○ 構造解析演習 | | 1 | | |
| | ○ 建築振動 | | 2 | | |
| | ○ 弾塑性構造 | | 2 | | |
| | △ 建築構造と構法 | 2 | | | |
| | △ 仕上げ材料と構法 | | 2 | | |
| | △ 構造材料と工法 | | 2 | | |
| | △ 建築設計計画論 1 | 2 | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 2 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 3 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 4 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 5 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 6 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 7 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 8 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 9 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 10 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 11 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 12 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 13 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 14 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 15 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 16 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 17 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 18 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 19 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 20 | | | 2 | |
| | △ 建築設計計画論 21 | | | 2 | |
| △ 建築設計計画論 22 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 23 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 24 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 25 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 26 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 27 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 28 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 29 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 30 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 31 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 32 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 33 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 34 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 35 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 36 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 37 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 38 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 39 | | | 2 | | |
| △ 建築設計計画論 40 | | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【建築学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | 建築環境実験 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | △ 建築構造実験 | | 2 | | |
| | 建築材料施工実験 | | 2 | | |
| | △ 建築ゼミナール | | 2 | | |
| | △ 建築ゼミナール | 4 | 1 | | |
| | 卒業造建築の設計 | | 2 | | |
| | 木建築文化史 | | 2 | | |
| | 建築ゼミナール | | 1 | | |
| | △ 職業指導 | | | 2 | |
| | ○ 代数学特論 A | | | 2 | |
| | ○ 代数学特論 B | | | 2 | |
| | ○ 代数学特論 A | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 A | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 B | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 A | | | 2 | |
| ○ 解析学 B | | | 2 | | |
| ○ 確率統計 | | | 2 | | |
| ○ 数理統計 | | | 2 | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|--------------------------------------|-----------------------|---------|----|----|--------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 数理 基礎 科目 | 数 学 (代 数) | | 2 | | |
| | 数 学 (解 析) | | 2 | | |
| | 物 理 学 | | 2 | | |
| | 化 学 | | 2 | | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 微 分 積 分 1 | | 2 | | ※ |
| | 微 分 積 分 1 演 習 | | 1 | | |
| | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | | | |
| | 微 分 積 分 2 | | 2 | | |
| | 微 分 積 分 2 演 習 | | 1 | | |
| | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | | |
| | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 1 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | |
| | 数 値 計 算 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | |
| | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 | | 2 | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B | | 2 | | ※ ※ |
| | 基 礎 化 学 A | | | | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------|-----------------------------------|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W | | 2 | | |
| | | 英語L & S | | 2 | | |
| | 英 語 上 達 科 目 II | | 【Reading & Writing】 | | | |
| | | | Reading & Writing I | | 2 | |
| | | | Reading IA | | 2 | |
| | | | Reading IB | | 2 | |
| | | | Writing IA | | 2 | |
| | | | Writing IB | | 2 | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | 2 | |
| English Communication I | | | | 2 | | |
| Presentation I | | | | 2 | | |
| 英 語 上 達 科 目 II | | 【総 合】 | | | | |
| | | 英語総合IA | | 2 | | |
| | | 英語総合IB | | 2 | | |
| | | 工学英語IA | | 2 | | |
| | | 工学英語IB | | 2 | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 | | | | |
| | | TOEIC IA | | 2 | | |
| | | TOEIC IB | | 2 | | |
| | | Reading II A | | 2 | | |
| | | Reading II B | | 2 | | |
| Writing II A | | 2 | | | | |
| Writing II B | | 2 | | | | |
| Presentation II | | 2 | | | | |
| Debate II A | | 2 | | | | |
| Debate II B | | 2 | | | | |
| TOEIC II | | 2 | | | | |
| 情 報 科 目 | 連情 科報 目関 | Java入門 | | 3 | | |
| | | C言語入門 | | 3 | | |
| | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ | | 1 | | |
| | | 情報処理概論 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|-------------|------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | |
| | | 文化人類学 | | 2 | |
| | | 言語文化論 | | 2 | |
| | | 日本の文化論 | | 2 | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | |
| | | ジェンダー文化論 | | 2 | |
| | 歴史学 | 現代史 | | 2 | |
| | | 科学技術史 | | 2 | |
| | 芸術学 | 芸術学 | | 2 | |
| | | 哲学・倫理学 | | 2 | |
| | 哲学 | 倫理学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | | 2 | |
| 技術者の倫理 | | | 2 | | |
| 科学技術倫理 | | | 2 | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 経済地理学 | | 2 | |
| | | 社会地理学 | | 2 | |
| | | 地域と産業 | | 2 | |
| | | 地域調査入門 | | 2 | |
| | 政策学 | 政策学入門 | | 2 | |
| | | 現代日本の地方自治論 | | 2 | |
| | | 経済政策論 | | 2 | |
| | 法学 | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | | 法学入門 | | 2 | |
| | | 知的財産法 | | 2 | |
| | 経済学 | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | 民法 | | 2 | |
| | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | 社会学 | ミクロ経済学 | | 2 | |
| | | 経済学入門 | | 2 | |
| | | 公共経済学 | | 2 | |
| | | 経済統計学 | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| 地域社会学 | | | 2 | | |
| 経営学 | 経営学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| | 企業システム論 | | 2 | | |
| | 企業社会学論 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会学 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 地域と情報 | | 2 | | |
| | 情報技術と社会学 | | 2 | | |
| | 情報社会と情報倫理 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 社会と 産業技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 日本と世界 | クローハ・リセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| | 環境 | 環境学入門 | | 2 | |
| 人間社会と環境問題 | | | 2 | | |
| 環境経済学 | | | 2 | | |
| 生物と環境の保全 | | | 2 | | |
| 生産と消費の環境論 | | | 2 | | |
| 地域環境マネジメント | | | 2 | | |
| 地域と環境 | | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【建築工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【建築工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|--------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 材料力学 | | 3 | | |
| | △ 構造力学 | 3 | | | |
| | ○ 建築製図 | 2 | | | |
| | △ 建築製図 | 2 | | | |
| | △ 建築工学入門 | 2 | | | |
| | △ 日本建築史 | | 2 | | |
| | △ 産業建築史 | | 2 | | |
| | △ 建築設計1 | 3 | | | |
| | △ 建築設計2 | 3 | | | |
| | △ 建築設計3 | | 1 | | |
| | △ 建築設計3-1 | | 1 | | |
| | △ 建築設計3-2 | | 1 | | |
| | △ 建築設計3-3 | | 1 | | |
| | ○ C A D 演習 | | 2 | | |
| | △ 建築構造計画 | | 2 | | |
| | △ 基礎構造 | | 2 | | |
| | △ 西洋建築史 | | 2 | | |
| | △ 建築環境計画1 | | 2 | | |
| | △ 建築環境計画2 | | 2 | | |
| | △ 建築環境計画1 | | 2 | | |
| | △ 建築環境計画2 | | 2 | | |
| | △ 建築構造解析・演習 | | 3 | | |
| | △ 建築英語 | | 2 | | |
| | △ イタリア建築実習A | | 2 | | |
| | △ イタリア建築実習B | | 2 | | |
| | △ 海外建築研究 | | 2 | | |
| | △ 建築実験1 | 3 | | | |
| | △ 建築実験2 | | 3 | | |
| | △ 建築ゼミナール1 | 2 | | | |
| | △ 建築ゼミナール2 | 2 | | | |
| | △ 鉄筋コンクリート構造 | | 2 | | |
| | △ 鋼構造 | | 2 | | |
| | △ 木構造 | | 2 | | |
| | △ 建築計画1 | | 2 | | |
| | △ 建築振動論 | | 2 | | |
| | △ 建築構工法演習 | | 1 | | |
| | △ 都市デザイン論 | | 2 | | |
| | △ 地域計画論 | | 2 | | |
| | △ 給排水システム計画 | | 2 | | |
| | △ 空調システム計画 | | 2 | | |
| △ 都市防災 | | 2 | | | |
| △ 建築経済 | | 2 | | | |
| △ 建築構工法 | | 2 | | | |
| △ 近代建築原論 | | 2 | | | |
| △ 環境エネルギー計画 | | 2 | | | |
| △ 建築プロジェクトマネジメント | | 2 | | | |
| △ 建築各部構法 | | 2 | | | |
| △ 建築法規 | | 2 | | | |
| △ 特別講義・演習 | | 2 | | | |
| △ 韓国建築実習A | | 2 | | | |
| △ 韓国建築実習B | | 2 | | | |
| △ ロシア建築実習A | | 2 | | | |
| △ ロシア建築実習B | | 2 | | | |
| △ フランス建築実習A | | 2 | | | |
| △ フランス建築実習B | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【建築工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|--------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | 特殊構造論 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | △ 建築構造学の基礎 | | 1 | | |
| | △ 近代建築史 | | 2 | | |
| | 建築生産計画 | | 2 | | |
| | 建築環境設計 | | 2 | | |
| | 建築計画 | | 2 | | |
| | オブジェクトCAD演習1 | | 2 | | |
| | オブジェクトCAD演習2 | | 2 | | |
| | △ 建築材料1 | | 2 | | |
| | △ 建築材料2 | | 2 | | |
| | △ 卒業業務研究 | 4 | | | |
| | △ 職業指導 | | | 2 | |
| | ○ 代数学A | | | 2 | |
| | ○ 代数学B | | | 2 | |
| | ○ 代数学特論A | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論A | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論B | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論A | | | 2 | |
| ○ 幾何学特論B | | | 2 | | |
| ○ 解析学 | | | 2 | | |
| ○ 確率論 | | | 2 | | |
| ○ 数理統計学 | | | 2 | | |

(備考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単位数 | | | 摘 要 | |
|--------------------------------------|-----------------------|---------------------|----|----|-----|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 数理 基礎 科目 | 数 学 科 目 | 数 学 (代 数) | | 2 | | |
| | | 数 学 (解 析) | | 2 | | |
| | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 | | 2 | | |
| | 化 学 科 目 | 化 学 | | 2 | | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 1 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 1 演 習 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 1 | | 3 | | |
| | | 微 分 積 分 2 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 2 演 習 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 お よ び 演 習 2 | | 3 | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 | | 2 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | | |
| | 線 形 代 数 2 | | 2 | | | |
| | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | | | |
| | 関 数 論 | | 2 | | | |
| | 微 分 方 程 式 | | 2 | | | |
| | 偏 微 分 方 程 式 | | 2 | | | |
| | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | | | |
| | 数 値 計 算 | | | 2 | | |
| | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | | | |
| | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | | | |
| | 物 理 学 科 目 | 基 礎 力 学 | | | | ※ |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | | | ※ | |
| 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | | 3 | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | 2 | | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | | |
| 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 B | | 2 | | | |
| | 基 礎 化 学 A | | | | ※ | |
| | 基 礎 化 学 S | | | | ※ | |
| | 基 礎 無 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 有 機 化 学 | | 2 | | | |
| | 基 礎 生 物 化 学 | | 2 | | | |
| | 化 学 実 験 | | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---|-----------------------|--------------------------------------|--------|--------|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 英 語 上 達 科 目 I | 科基英 目底語 | 英語R & W 英語L & S | | 2 2 | | | |
| | 英 語 上 達 科 目 I | 【Reading & Writing】 Reading & Writing I Reading IA Reading IB Writing IA Writing IB | | 2 2 2 2 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 Listening & Speaking I English Communication I Presentation I | | 2 2 2 | | | |
| | | 【総 合】 英語総合IA 英語総合IB 工学英語IA 工学英語IB | | 2 2 2 2 | | | |
| | | 【TOEIC演習科目】 TOEIC IA TOEIC IB | | 2 2 | | | |
| | | 英 語 上 達 科 目 II | Reading II A Reading II B Writing II A Writing II B Presentation II Debate II A Debate II B TOEIC II | | 2 2 2 2 2 2 2 2 | | |
| | | | 連情 科報 目関 | Java入門 C言語入門 | | 3 3 | |
| | | | | 礎情 科報 目基 | 情報リテラシ 情報処理概論 | | 1 2 |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|-------------|-----|-----------|-----------|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 人 文 分 野 科 目 | 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | | 文化人類学 | | 2 | | |
| | | 言語文化論 | | 2 | | |
| | | 日本文化論 | | 2 | | |
| | | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | | ジェンダー論 | | 2 | | |
| | 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| | | 科学技術史 | | 2 | | |
| | 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| | | 哲学・倫理学 | | 2 | | |
| | 目 | 文学 | 哲学 | | 2 | |
| | | | 倫理 | | 2 | |
| 生命倫理 | | | | 2 | | |
| 技術者の倫理学 | | | | 2 | | |
| 心理学 | 文学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | |
| | | 文学表現論 | | 2 | | |
| 社 会 分 野 科 目 | 地理学 | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会心理学 | | 2 | | |
| | | 認知心理学 | | 2 | | |
| | | 地域地理学 | | 2 | | |
| | 政策学 | 社会学 | 地域と産業 | | 2 | |
| | | | 地域調査入門 | | 2 | |
| | | | 地域分析入門 | | 2 | |
| | 法学 | 社会学 | 政策学入門 | | 2 | |
| | | | 現代日本の地方自治 | | 2 | |
| | | | 経済政策論 | | 2 | |
| | 目 | 社会学 | NPOと市民社会 | | 2 | |
| | | | 法学入門 | | 2 | |
| 知的財産法 | | | | 2 | | |
| 経済学 | | 社会学 | 日本国憲法 | | 2 | |
| | | | 民法 | | 2 | |
| | | | マクロ経済学 | | 2 | |
| | | | ミクロ経済学 | | 2 | |
| 社会学 | 社会学 | 経済学入門 | | 2 | | |
| | | 公共経済学 | | 2 | | |
| | | 経済統計学 | | 2 | | |
| | | 地域社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | 地域社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 経営学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | 経営学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |
| | | 社会学 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|--------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 総 合 分 野 科 目 | コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | |
| | | レポートライティング | | 2 | |
| | | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | |
| | 産業社会と 技術 | 福祉と技術 | | 2 | |
| | | 科学技術の社会学 | | 2 | |
| | 心身の 健康 | 現代人の精神衛生 | | 2 | |
| | | 高度情報社会におけるストレス | | 2 | |
| | 教育 | 教育の近代史 | | 2 | |
| | | 教育の現代史 | | 2 | |
| | | 教育原論 | | 2 | |
| | | 教育社会学 | | 2 | |
| | | 教育心理学 | | 2 | |
| | 現代の 日本と世界 | クローハ・リセッション論 | | 2 | |
| | | 現代日本の社会 | | 2 | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【情報工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 科 目 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | 1 | | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 電 気 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | | 2 | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 物 性 入 門 | | 2 | | |
| 認 知 工 学 入 門 | | | 2 | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| 行 動 生 態 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 芝 浦 工 業 大 学 通 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定1」（2単位）「学外英語検定2」（2単位）「語学集中研修（アーバイン）」（2単位）「語学集中研修（マックマスター）」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------------------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | マ ー ケ ッ テ イ ン グ | | 2 | | |
| | ○ 確 率 論 と 情 報 理 論 | | 2 | | |
| | △ 論 理 回 路 | | 2 | | |
| | □ コンピュータアーキテクチャ 1 | 2 | | | |
| | □ コンピュータアーキテクチャ 2 | | 2 | | |
| | △ プログラミング入門 1 | 2 | | | |
| | △ プログラミング入門 2 | 2 | | | |
| | ○ データ構造とアルゴリズム 1 | 2 | | | |
| | ○ データ構造とアルゴリズム 2 | | 2 | | |
| | □ 情報ネットワークス | | 2 | | |
| | □ データベース | | 2 | | |
| | △ コンピュータ通信 | | 2 | | |
| | □ デジタルメディア処理 1 | | 2 | | |
| | △ デジタルメディア処理 2 | | 2 | | |
| | △ ヒューマンコンピュータインタラクション 1 | | 2 | | |
| | △ ヒューマンコンピュータインタラクション 2 | | 2 | | |
| | □ 人 工 知 能 | | 2 | | |
| | 卒 研 プ レ ゼ ミ ナ ー ル | | 2 | | |
| | □ コンピュータ科学序説 | 2 | | | |
| | △ 自然言語処理 | | 2 | | |
| | △ 基礎情報演習 1 A | 2 | | | |
| | △ 基礎情報演習 1 B | 1 | | | |
| | △ 基礎情報演習 2 A | 2 | | | |
| | □ 基礎情報演習 2 B | 2 | | | |
| | △ 高度情報演習 1 A | | 2 | | |
| | △ 高度情報演習 1 B | | 2 | | |
| | △ 高度情報演習 2 A | | 2 | | |
| | △ 高度情報演習 2 B | | 2 | | |
| | △ 高度情報演習 2 C | | 2 | | |
| | ○ 離散数学 1 | 2 | | | |
| | ○ 離散数学 2 | | 2 | | |
| | ○ 形式言語とオートマトン | | 2 | | |
| | △ プログラミング言語論 | | 2 | | |
| | △ コンパイル | | 2 | | |
| | □ ソフトウェア工学 1 | | 2 | | |
| | △ ソフトウェア工学 2 | | 2 | | |
| | □ オペレーティングシステム | | 2 | | |
| | □ 数 理 論 理 学 | | 2 | | |
| | □ 集 積 回 路 工 学 | | 2 | | |
| | パ タ ー ン 認 識 | | 2 | | |
| 情 報 セ キ ュ リ テ イ ス | | 2 | | | |
| □ コンピュータグラフィックス | | 2 | | | |
| □ 情 報 倫 理 | | 2 | | | |
| △ 信 号 処 理 | | 2 | | | |
| △ システムプログラミング | | 2 | | | |
| △ 上級プログラミング | | 2 | | | |
| 組 込 み シ ス テ ム | | 2 | | | |
| 音 響 ・ 音 声 処 理 工 学 | | 2 | | | |
| □ 情 報 工 学 通 論 | 2 | | | | |
| ○ 数 値 計 算 法 学 | | 2 | | | |
| ○ 応 用 数 学 | | 2 | | | |
| 上 級 プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【情報工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|---------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | ○ 数 理 計 画 法 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | ○ デ 一 タ 解 析 法 | | 2 | | |
| | ○ 情 報 工 学 実 習 | 4 | 1 | | |
| | △ 職 業 業 研 指 導 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 数 学 学 A | | | 2 | |
| | ○ 代 数 数 学 学 B | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 何 学 学 A | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 何 学 学 B | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 A | | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 学 B | | | 2 | |
| | ○ 確 率 統 計 論 | | | 2 | |
| | ○ 数 理 統 計 学 | | | 2 | |
| | □ 情 報 と 職 業 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、□印は「情報」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

【教職課程】

工学部 機械工学科 機械機能工学科 材料工学科 応用化学科 電気工学科 通信工学科
電子工学科 土木工学科 建築学科 建築工学科 情報工学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|------------------------|-----------------|-----|----|----|-----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 職 論 | | | 2 | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 の 近 代 史 | | 2 | | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 の 現 代 史 | | 2 | | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 課 程 論 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 中学校免許状の課程のみ適用 |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | | 2 | |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | | 2 | |
| 教 育 相 談 論 | | | 2 | | |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | | 1 | | |
| 教 育 実 習 1 | | | 2 | | |
| 教 育 実 習 2 | | | 2 | | |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | | 2 | | |
| 教 科 又 は 教 職 に 関 する 科 目 | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 高等学校免許状の課程のみ適用 |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学部 | 学科名 | 免許状の種類 | 教科名 |
|-------|-------------|-------------|----------|
| 工学部 | 機械工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 機械機能工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 材料工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 応用化学科 | 中学校教諭1種免許状 | 理科 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 理科・工業 |
| | 電気工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 通信工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報・工業 |
| 電子工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 | |
| | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 | |
| 土木工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 | |
| | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 | |
| 建築学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 | |
| | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 | |
| 建築工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 | |
| | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 | |
| 情報工学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 | |
| | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報・工業 | |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 所要資格等 免許状の種類 | 基礎資格 | 専門教育科目の最低単位数 | | | |
|-----------------|--|--------------|--------|----------|---------------|
| | | 教科に関する科目 | | 教職に関する科目 | 教科または教職に関する科目 |
| | | 教科名 | 単位数 | | |
| 中学校教諭 1種免許状 | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 35単位 | 8単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| 高等学校教諭 1種免許状 | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 27単位 | 12単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| | | 情 報 | 20単位以上 | | |
| | | 工 業 | 20単位以上 | | |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | | 高等学校教諭1種免許状 | | | |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|------|------|------|
| | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 | 数学 | 理科 | 情報 | 工業 |
| 教 職 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 原 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 の 近 代 史 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 の 現 代 史 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 心 理 学 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 社 会 学 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 課 程 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 数 学 科 指 導 法 1 | 2 単位 | | 2 単位 | | | |
| 数 学 科 指 導 法 2 | 2 単位 | | 2 単位 | | | |
| 数 学 科 指 導 法 3 | 2 単位 | | 2 単位 | | | |
| 数 学 科 指 導 法 4 | 2 単位 | | 2 単位 | | | |
| 理 科 指 導 法 1 | | 2 単位 | | 2 単位 | | |
| 理 科 指 導 法 2 | | 2 単位 | | 2 単位 | | |
| 理 科 指 導 法 3 | | 2 単位 | | 2 単位 | | |
| 理 科 指 導 法 4 | | 2 単位 | | 2 単位 | | |
| 情 報 科 指 導 法 1 | | | | | 2 単位 | |
| 情 報 科 指 導 法 2 | | | | | 2 単位 | |
| 工 業 科 指 導 法 1 | | | | | | 2 単位 |
| 工 業 科 指 導 法 2 | | | | | | 2 単位 |
| 道 徳 教 育 の 研 究 | 2 単位 | 2 単位 | | | | |
| 特 別 活 動 の 研 究 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 相 談 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 |
| 教 育 実 習 1 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 実 習 2 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修 得 単 位 数 | |
|-----|---------------------------|---------------|---------------------------------|
| | | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 |
| 数 学 | 代 数 | 計 2 0 単 位 以 上 | 計 2 0 単 位 以 上 |
| | 幾 何 | | |
| | 解 析 | | |
| | 確 率 論 、 統 計 | | |
| 理 科 | コ ン ピ ュ ー タ | 計 2 0 単 位 以 上 | 計 2 0 単 位 以 上 |
| | 物 理 学 | | |
| | 化 学 | | |
| | 生 物 学 | | |
| | 地 球 学 実 験 | | |
| | 物 理 学 実 験 | | |
| 情 報 | 情 報 社 会 及 び 情 報 倫 理 | 計 2 0 単 位 以 上 | 計 2 0 単 位 以 上 |
| | コ ン ピ ュ ー タ 及 び 情 報 処 理 | | |
| | 情 報 シ ス テ ム | | |
| | 情 報 通 信 ネットワーク | | |
| | マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 及 び 技 術 | | |
| 工 業 | 情 報 と 職 業 | 計 | 2 単 位 1.8 単 位 2 0 単 位 以 上 |
| | 職 業 指 導 目 録 関 係 科 目 | | |

別表 4

授 業 科 目

システム理工学部

【各学科共通】

| 授 業 科 目 | | | 単位数 | | | 適 用 |
|--------------------------------|---------------------|---|-----|----|--|-----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 総 合 科 目 | 哲 学 I | | 2 | | 総合科目より外国語科目を除き、 電子情報システム学科、 機械制御システム学科、 生命科学科、 数理科学科では18単位以上を、 環境システム学科では 24単位以上を取得する。 □…教科に関する科目(情報) | |
| | 哲 学 II | | 2 | | | |
| | 認 知 心 理 学 | | 2 | | | |
| | 組 織 心 理 学 | | 2 | | | |
| | 史 学 I | | 2 | | | |
| | 史 学 II | | 2 | | | |
| | 倫 理 学 | | 2 | | | |
| | 生 命 倫 理 概 論 | | 2 | | | |
| | □ 情 報 社 会 と 法 | | 2 | | | |
| | 日 本 国 憲 法 論 | | 2 | | | |
| | 経 営 戦 略 論 | | 2 | | | |
| | マ ー ケ テ ィ ン グ 論 | | 2 | | | |
| | 行 政 学 | | 2 | | | |
| | 政 治 学 | | 2 | | | |
| | 社 会 福 祉 論 | | 2 | | | |
| | 科 学 技 術 史 | | 2 | | | |
| | 経 済 学 I | | 2 | | | |
| | 経 済 学 II | | 2 | | | |
| | 社 会 学 概 論 | | 2 | | | |
| | カルチュラルスタディーズI | | 2 | | | |
| | カルチュラルスタディーズII | | 2 | | | |
| | プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 論 | | 2 | | | |
| | 文 章 論 | | 2 | | | |
| | 社 会 ニ ー ズ 調 査 概 論 | | 2 | | | |
| | 社 会 ニ ー ズ 調 査 技 法 | | 2 | | | |
| | 社 会 ニ ー ズ 分 析 | | 2 | | | |
| | シ ス テ ム と は | | 2 | | | |
| | 言 語 と 文 化 | | 2 | | | |
| | 論 理 的 問 題 解 決 法 | | 2 | | | |
| | 経 営 行 動 科 学 | | 2 | | | |
| | ラ イ フ サ イ エ ン ス | | 2 | | | |
| | □ 技 術 者 と 倫 理 | | 2 | | | |
| 先 端 技 術 と ビ ジ ネ ス | | 2 | | | | |
| 現 代 社 会 論 | | 2 | | | | |
| 科 学 技 術 と 社 会 | | 2 | | | | |
| 人 間 と 環 境 I | | 2 | | | | |
| 人 間 と 環 境 II | | 2 | | | | |
| 環 境 と 文 明 社 会 | | 2 | | | | |
| ス ペ イ ン 語 圏 の 文 化 と 歴 史 I | | 2 | | | | |
| ス ペ イ ン 語 圏 の 文 化 と 歴 史 II | | 2 | | | | |
| ド イ ツ 語 圏 の 文 化 と 歴 史 I | | 2 | | | | |
| ド イ ツ 語 圏 の 文 化 と 歴 史 II | | 2 | | | | |
| 韓 国 語 (朝 鮮 語) 圏 の 文 化 と 歴 史 I | | 2 | | | | |
| 韓 国 語 (朝 鮮 語) 圏 の 文 化 と 歴 史 II | | 2 | | | | |
| フ ラ ン ス 語 圏 の 文 化 と 歴 史 I | | 2 | | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【各学科共通】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|-----------------------|---|-----|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 総 合 科 目 | フランス語圏の文化と歴史Ⅱ | | 2 | | *外国語の科目は、2カ国語以上を修得し、 そのうち英語は8単位以上、 計10単位以上を取得する。 |
| | 中国語圏の文化と歴史Ⅰ | | 2 | | |
| | 中国語圏の文化と歴史Ⅱ | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 教 育 の 近 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 の 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | English Critical Thinking I * | | 2 | | |
| | English Critical Thinking II * | | 2 | | |
| | English Social Issues I * | | 2 | | |
| | English Social Issues II * | | 2 | | |
| | English Critical Media Studies I * | | 2 | | |
| | English Critical Media Studies II * | | 2 | | |
| | English Analysis of New Social Movements * | | 2 | | |
| | 学 外 英 語 検 定 Ⅰ * | | 2 | | |
| | 学 外 英 語 検 定 Ⅱ * | | 2 | | |
| | ド イ ツ 語 Ⅰ * | | 2 | | |
| | ド イ ツ 語 Ⅱ * | | 2 | | |
| | 中 国 語 Ⅰ * | | 2 | | |
| | 中 国 語 Ⅱ * | | 2 | | |
| | 韓 国 語 (朝 鮮 語) Ⅰ * | | 2 | | |
| | 韓 国 語 (朝 鮮 語) Ⅱ * | | 2 | | |
| | フ ラ ン ス 語 Ⅰ * | | 2 | | |
| | フ ラ ン ス 語 Ⅱ * | | 2 | | |
| | ス ペ イ ン 語 Ⅰ * | | 2 | | |
| | ス ペ イ ン 語 Ⅱ * | | 2 | | |
| | Japanese Language Ⅰ | | | 2 | |
| | Japanese Language Ⅱ | | | 2 | |
| | からだの仕組みと運動 | | 2 | | |
| | 身体運動のメカニズム | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 A | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 B | | 2 | | |
| 体育実技(フライングディスク) | | 1 | | | |
| 体育実技 (テニス基礎) | | 1 | | | |
| 体育実技 (テニス応用) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (卓 球) | | 1 | | | |
| 体育実技 (バドミントン) | | 1 | | | |
| 体育実技 (ソフトボール) | | 1 | | | |
| 体育実技 (バレーボール) | | 1 | | | |
| 体育実技 (バスケットボール) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (ゴ ル フ Ⅰ) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (ゴ ル フ Ⅱ) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (ス キ ー) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (フ ッ ト サ ル) | | 1 | | | |
| 体 育 実 技 (軟 式 野 球) | | 1 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【電子情報システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|------------|---------------------------------|-----|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎科目 | ○ 数 学 I 演 習 | 2 | 1 | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 代 数 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 I | | | 2 | |
| | ○ 統 計 解 析 | | | 2 | |
| | ○ 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | ○ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 I | | 2 | | |
| ○ 生 物 学 II | | 2 | | | |
| ○ 化 学 I | | 2 | | | |
| ○ 化 学 II | | 2 | | | |
| システム・情報科目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) □…教科に関する科目(情報) |
| | □ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | □ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | △ 創 造 的 機 械 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 生 命 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | △ 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム エ ン ト シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム エ ン ト シ ス テ ム 演 習 | | 2 | | |
| | △ マ ネ ジ ム エ ン ト 技 術 | | 2 | | |
| | △ エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| | △ 関 係 の 数 理 | | 2 | | |
| | △ 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | |
| | △ 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | △ 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | |
| | △ リ ス ク マ ネ ジ ム エ ン ト | | 2 | | |
| | □ コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 | | | 2 | |
| | △ 工 学 基 礎 概 論 | | | 2 | |
| △ 職 業 指 導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【電子情報システム学科】

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|----------------------|-----|----|--|
| | 必修 | 選択 | |
| ○ 計算機アーキテクチャ | | 2 | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) □…教科に関する科目(情報) |
| ○ 離 散 数 学 | 2 | | |
| □ データ構造とアルゴリズム | 2 | | |
| □ フロク・プログラミング演習 I | | 1 | |
| □ オブジェクト指向プログラミング I | | 2 | |
| □ オブジェクト指向プログラミング II | | 2 | |
| □ フロク・プログラミング演習 II | | 1 | |
| □ データベース | | 2 | |
| □ オートマトンと言語理論 | | 2 | |
| □ ソフトウェア設計論 | | 2 | |
| □ オペレーティングシステム | | 2 | |
| □ 言語処理系 | | 2 | |
| □ 人工知能基礎 | | 2 | |
| □ 記号処理演習 | | 1 | |
| □ 自然言語処理 | | 2 | |
| □ パターン認識 | | 2 | |
| □ CG・画像処理基礎 | | 2 | |
| □ 情報通信基礎 | 2 | | |
| □ 通信網工学 | | 2 | |
| △ 計測工学論 | | 2 | |
| □ 情報理論 | 2 | | |
| △ 通信方式 | | 2 | |
| □ インターネット基礎 | | 2 | |
| △ 電子計測 | | 2 | |
| ○ 信号解析 | | 2 | |
| □ 画像情報処理 | | 2 | |
| □ ワイヤレス通信工学 | | 2 | |
| ○ グラフ理論とネットワーク | | 2 | |
| □ 情報ネットワーク I | | 2 | |
| □ 情報ネットワーク II | | 2 | |
| ○ デジタル信号処理 | | 2 | |
| ○ アナログ信号処理 | | 2 | |
| △ 通信伝送システム | | 2 | |
| △ 電磁波工学 | | 2 | |
| 宇宙観測技術 | | 2 | |
| □ 符号理論 | | 2 | |
| △ 電気回路 I | 2 | | |
| △ 電気回路 II | | 2 | |
| △ 電気磁気学 I | | 2 | |
| △ 電気磁気学 II | | 2 | |
| □ 論理回路 | 2 | | |
| □ 論理回路演習 | | 1 | |
| △ 電子回路 I | | 2 | |
| △ 電子回路 II | | 2 | |
| △ 回路工学演習 | | 1 | |
| ○ 回路とシステム | | 2 | |
| システム制御 I | | 2 | |
| システム制御 II | | 2 | |
| △ LSI 設計基礎 | | 2 | |
| △ 量子論の基礎 | | 2 | |
| △ 半導体基礎 | | 2 | |
| △ 半導体工学 | | 2 | |
| △ 電子デバイス | | 2 | |
| △ LSI 設計 CAD | | 2 | |
| △ LSI 設計演習 | | 1 | |
| △ 電子情報基礎実験 | | 2 | |
| 電子情報システム総論 | 2 | | |
| △ 情報実験 I | | 2 | |
| △ 情報実験 II | | 2 | |
| △ 電子情報実験 I | | 2 | |
| △ 電子情報実験 II | | 2 | |
| テクニカルセミナー | | 1 | |
| 総合研究 | 6 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【機械制御システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|---|-------------------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基 礎 科 目 | ○ 数 学 I 演 習 | 2 | 1 | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 統 計 解 析 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 I | | | 2 | |
| | ○ 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | ○ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ○ 化 学 I | | 2 | | |
| ○ 化 学 II | | 2 | | | |
| シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | △ 創 意 的 学 習 | | 2 | | |
| | △ 電 子 ・ 情 報 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 生 命 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | △ 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 演 習 | | 2 | | |
| | △ マ ネ ジ ム ン ト 技 術 | | 2 | | |
| | △ エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| | △ 関 係 の 数 理 | | 2 | | |
| | △ 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | |
| | △ 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | 2 | | |
| △ 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | | |
| △ リ ス ク マ ネ ジ ム ン ト | | 2 | | | |
| △ 工 学 基 礎 概 論 | | | 2 | | |
| △ 職 業 指 導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【機械制御システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | 適 用 |
|---------------------------------|-----------------------|-----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | △ 機 械 力 学 | 2 | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 振 動 工 学 | 2 | | |
| | △ 材 料 力 学 I | 2 | | |
| | △ 材 料 力 学 II | | 2 | |
| | △ 流 れ 学 I | 2 | | |
| | △ 流 れ 学 II | | 2 | |
| | △ 熱 力 学 I | 2 | | |
| | △ 熱 力 学 II | | 2 | |
| | △ 機 械 工 学 実 験 I | 2 | | |
| | △ 機 械 工 学 実 験 II | 2 | | |
| | ○ 機 械 シ ス テ ム 基 礎 数 学 | | 2 | |
| | △ 計 測 工 学 | | 2 | |
| | △ 基 礎 エ レ ク ト ロ ニ ク ス | | 2 | |
| | ○ 制 御 工 学 I | 2 | | |
| | ○ 制 御 工 学 II | 2 | | |
| | △ 制 御 工 学 III | | 2 | |
| | ○ 計 測 制 御 演 習 | | 1 | |
| | △ 機 構 学 | 2 | | |
| | △ 機 械 要 素 | 2 | | |
| | △ 機 械 材 料 学 | | 2 | |
| | △ 加 工 工 学 | | 2 | |
| | △ 機 械 製 図 法 | 2 | | |
| | △ 基 礎 製 図 | 2 | | |
| | △ 設 計 製 図 | 2 | | |
| | △ 応 用 設 計 | | 2 | |
| | △ 応 用 設 計 演 習 | | 1 | |
| | △ 機 械 工 学 実 習 | 2 | | |
| | △ ロ ボ ッ ト 工 学 概 論 | | 2 | |
| | △ メ カ ト ロ ニ ク ス I | | 2 | |
| | △ メ カ ト ロ ニ ク ス II | | 2 | |
| | △ 自 動 車 工 学 | | 2 | |
| | △ ロ ボ テ ィ ク ス | | 2 | |
| △ 工 業 デ ザ イン 概 論 | | 2 | | |
| △ デ ザ イン エ ル ゴ ノ ミ ク ス | | 2 | | |
| △ 工 業 デ ザ イン 演 習 | | 2 | | |
| △ 創 生 設 計 | | 2 | | |
| △ 創 生 設 計 演 習 | | 1 | | |
| △ デ ジ タ ル エ ン ジ ニ ア リ ン グ | | 2 | | |
| △ 伝 熱 工 学 | | 2 | | |
| △ エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 | | 2 | | |
| △ 機 械 機 能 材 料 | | 2 | | |
| △ も の づ く り 工 学 | | 2 | | |
| △ エ ン ジ ニ ア リ ン グ ・ プ ラ ク テ ィ ス | | 1 | | |
| △ 機 械 シ ス テ ム セ ミ ナ ー | | 2 | | |
| △ 総 合 研 究 | 6 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【環境システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|---------------|-------------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎科目 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | | 1 | | |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 統 計 解 析 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 I | | | 2 | |
| | 一 般 力 学 I | | 2 | | |
| | 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | 物 理 学 I | | 2 | | |
| | 物 理 学 II | | 2 | | |
| | 生 物 学 I | | 2 | | |
| 生 物 学 II | | 2 | | | |
| 化 学 I | | 2 | | | |
| 化 学 II | | 2 | | | |
| システム・情報科目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | 創 意 的 学 習 | | 2 | | |
| | 電 子 ・ 情 報 システム概論 | | 2 | | |
| | 機 械 システム概論 | | 2 | | |
| | 生 命 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環境マネジメントシステム論 | | 2 | | |
| | △ 環境マネジメントシステム演習 | | 2 | | |
| | △ マネジメント技術 | | 2 | | |
| | △ エコライフと社会システム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| | 関 係 の 数 理 | | 2 | | |
| | 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | |
| | 社 会 システム科学概論 | | 2 | | |
| | 社 会 と 自 然 の モデル分析 | | 2 | | |
| | リ スク マネジメント | | 2 | | |
| △ 工 学 基 礎 概 論 | | | 2 | | |
| △ 職 業 指 導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【環境システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | 適 用 |
|------------------|--|-----|----|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | ○ 基礎実技 Environmental Studies in English | | 1 | *専門科目のうち、3年次の演習・実験科目から、 前期1科目以上、後期1科目以上、計2科目以上を 履修し、単位を取得しなければならない。 ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | △ 環境工学実験 * | | 2 | |
| | 建設事業制度 | | 2 | |
| | ○ 環境情報プログラミング | | 2 | |
| | ○ 環境情報プログラミング演習 * | | 1 | |
| | 建設プロジェクトマネジメント | | 2 | |
| | 社会実習 | | 2 | |
| | 総合研究 | 6 | | |
| | △ 建築史 | | 2 | |
| | △ 建築計画 | 2 | | |
| | 建築デジタルデザイン | | 2 | |
| | 建築設計情報演習 | | 2 | |
| | △ 近・現代建築論 | | 2 | |
| | △ 居住環境デザイン | | 2 | |
| | △ 居住環境デザイン演習 * | | 2 | |
| | △ 建築構造計画 | 2 | | |
| | 建築構造解析 | | 2 | |
| | 不静定構造の解析 | | 2 | |
| | △ 建築構造設計 | | 2 | |
| | △ 建築構造システム演習 * | | 1 | |
| | 建築材料 | | 2 | |
| | 建築生産・施工 | | 2 | |
| | △ 都市及び都市計画史 | | 2 | |
| | 環境システム計画 | 2 | | |
| | 環境計画演習 | | 1 | |
| | △ 土地利用システム計画 | | 2 | |
| | △ 土地利用計画演習 | | 1 | |
| | △ 都市・地域システム計画 | | 2 | |
| | △ 都市・地域計画演習 * | | 1 | |
| | △ 交通システム計画 | | 2 | |
| | △ 環境安全計画 | | 2 | |
| | △ 環境科学 I | | 2 | |
| | △ 環境科学 II | | 2 | |
| | 環境システム解析 | | 2 | |
| | 地域環境政策 I | | 2 | |
| | △ 地域環境政策 II | | 2 | |
| | △ 環境法 | | 2 | |
| | △ 都市環境管理 | | 2 | |
| | 建設環境論 | | 2 | |
| | △ 環境・エネルギーシステム論 | 2 | | |
| | △ 環境・エネルギーシステム演習 * | | 2 | |
| | 都市住宅論 | | 2 | |
| | △ 都市環境デザイン | | 2 | |
| | △ 都市環境デザイン演習 * | | 2 | |
| | 建築・都市法規 | | 2 | |
| 建築・環境デザイン | | 2 | | |
| 建築・環境デザイン演習 | | 2 | | |
| △ 環境調査体験 | | 2 | | |
| △ 開発計画論 | | 2 | | |
| 都市基盤施設工学基礎 | | 2 | | |
| △ 景観・環境デザイン | 2 | | | |
| △ 景観・環境デザイン演習 * | | 2 | | |
| △ 都市基盤施設計画 | 2 | | | |
| 地域環境政策演習 * | | 2 | | |
| △ 建築環境工学 | 2 | | | |
| 建築設備学 | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【生命科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|---|---------------------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基 礎 科 目 | ○ 数 学 I 演 習 I | 2 | 1 | | ○…教科に関する科目(数学) ☆…教科に関する科目(理科) |
| | ○ 数 学 I 演 習 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ○ 数 値 解 析 I | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 I | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 分 析 | | 2 | | |
| | ○ 統 計 解 析 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 基 礎 I | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 I | | | 2 | |
| | ○ 一 般 力 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 化 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 化 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 物 理 学 実 験 | | | 1 | |
| ☆ 化 学 実 験 | | | 1 | | |
| ☆ 生 物 学 実 験 | | | 1 | | |
| ☆ 地 学 実 験 | | | 1 | | |
| シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | 創 意 的 電 子 情 報 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | 機 械 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | 環 境 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム エ ン ト シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム エ ン ト シ ス テ ム 演 習 | | 2 | | |
| | △ マ ネ ジ ム エ ン ト 技 術 | | 2 | | |
| | △ エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| | 関 係 の 数 理 | | 2 | | |
| | 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | |
| | 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | |
| | リ ス ク マ ネ ジ ム エ ン ト | | 2 | | |
| △ 工 学 基 礎 概 論 | | | 2 | | |
| △ 職 業 指 導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【生命科学科】

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|---------------|-----|----|--|
| | 必修 | 選択 | |
| 生命科学概論 | | 2 | ○…教科に関する科目(数学) ☆…教科に関する科目(理科) △…教科に関する科目(工業) |
| ☆解剖学 I | | 2 | |
| ☆生理学 II | | 2 | |
| ☆分子生物学 | | 2 | |
| △医学概論 | | 2 | |
| ☆微生物学概論 | | 2 | |
| ☆食品工学概論 | | 2 | |
| △医用機器概論 | | 2 | |
| ☆免疫内分 | | 2 | |
| ☆環境化学 | | 2 | |
| ☆公衆衛生学 | | 2 | |
| △生命倫理学 | | 2 | |
| △○薬理計工学 | | 2 | |
| △再生医学工 | | 2 | |
| ☆生化学 I | | 2 | |
| △生体計測学 | | 2 | |
| ☆インタ一シッ | 6 | 1 | |
| ☆総合機研 | | 2 | |
| ☆無物理化 | | 2 | |
| ☆分析化学 | | 2 | |
| ☆有機化学 I | | 2 | |
| ☆有機化学 II | | 2 | |
| ☆有機化学実 | | 2 | |
| ☆分子生態学 | | 2 | |
| ☆植物生理学 | | 2 | |
| ☆生物生産工学 | | 2 | |
| ☆生体高分子工 | | 2 | |
| ☆食品栄養学 I | | 2 | |
| ☆食品栄養学 II | | 2 | |
| ☆細胞生理学 | | 2 | |
| △環境生物化学 | | 2 | |
| △環境管理化学 | | 2 | |
| ☆医薬品合成化学 | | 2 | |
| ☆生命科学実験 I | | 2 | |
| ☆生命科学実験 II | | 2 | |
| ☆生命科学実験 III | | 2 | |
| ☆生命科学基礎実験講義 | | 2 | |
| ☆生命科学基礎実 | | 1 | |
| ☆機械力学 | | 2 | |
| △機械構造学 | | 2 | |
| △材料力学 | | 2 | |
| △流れ学 | | 2 | |
| △機械要素 | | 2 | |
| ☆電気回路学 | | 2 | |
| △機械設計 | | 2 | |
| ○制御工学 | | 2 | |
| ☆医療福祉基礎実 | | 2 | |
| △電子回路 | | 2 | |
| ○メカトロニクス | | 2 | |
| ○シミュレーション工学演習 | | 2 | |
| △医療福祉設計演習 | | 2 | |
| △医療福祉材料学 | | 2 | |
| ○CAD / CAM 演習 | | 2 | |
| △バイオ流れ学 | | 2 | |
| △ハビリテーション工学 | | 2 | |
| △バイオロボティクス | | 2 | |
| △医用画像工学 | | 2 | |
| △福祉支援工 | | 2 | |
| △人工臓器 | | 2 | |
| △生命医学セミナー I | | 1 | |
| △医療福祉応用実 | | 2 | |
| △医療福祉応用実 | | 2 | |

授 業 科 目

システム理工学部

【数理科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|------------|-----------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎科目 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | 1 | | | |
| | ○ 数 学 II | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | 2 | | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 統 計 解 析 | | | 2 | |
| | 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | 物 理 学 I | | 2 | | |
| | 物 理 学 II | | 2 | | |
| | 生 物 学 I | | 2 | | |
| 生 物 学 II | | 2 | | | |
| 化 学 I | | 2 | | | |
| 化 学 II | | 2 | | | |
| システム・情報科目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) □…教科に関する科目(情報) |
| | □ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | □ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | システム工学演習A | 1 | | | |
| | システム工学演習B | 1 | | | |
| | システム工学演習C | | 2 | | |
| | 創 意 的 学 習 | | 2 | | |
| | 電子・情報システム概論 | | 2 | | |
| | 機械システム概論 | | 2 | | |
| | 環境システム概論 | | 2 | | |
| | 生命科学概論 | | 2 | | |
| | 社会と数理 | | 2 | | |
| | 環境マネジメントシステム論 | | 2 | | |
| | 環境マネジメントシステム演習 | | 2 | | |
| | マネジメント技術 | | 2 | | |
| | エコライフと社会システム | | 2 | | |
| | 信頼性工学 | | 2 | | |
| | 人間工学 | | 2 | | |
| | 関係の数理 | | 2 | | |
| | 社会統計解析 | | 2 | | |
| | 社会システム科学概論 | | 2 | | |
| | 社会と自然のモデル分析 | | 2 | | |
| リスクマネジメント | | 2 | | | |
| □ コンピュータ基礎 | | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【数理科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | 適 用 |
|---------------------------------|---------------------------------------|-----|----|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | 基礎数理セミナー | 2 | | <input type="radio"/> …教科に関する科目(数学) <input type="checkbox"/> …教科に関する科目(情報) |
| | <input type="radio"/> 数学基礎 | 2 | | |
| | <input type="radio"/> 数学II演習 | 1 | | |
| | 数理科学演習I | 2 | | |
| | 数理科学演習II | 2 | | |
| | 数学特別講義A* | | 2 | |
| | 数学特別講義B* | | 2 | |
| | 数理科学セミナー | 2 | | |
| | 総合研究 | 6 | | |
| | <input type="radio"/> 線形空間 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 代数基礎 | 2 | | |
| | <input type="radio"/> 代数学I | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 代数学II | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 代数学III | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 集合と位相 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 幾何学I | 2 | | |
| | <input type="radio"/> 幾何学II | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 幾何学III | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 解析基礎 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 関数方程式論I | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 関数方程式論II | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 測度論 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 解析学III | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 関数解析 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 応用解析 | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 応用数値解析I | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 応用数値解析II | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 制御理論基礎 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 数理計画法 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 現象の数理解 | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> シミュレーション | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 現代制御理論 | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 数理生物学 | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズム | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> プログラミング演習 | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 行列解析 | | 2 | |
| <input type="checkbox"/> オートマトン | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 計算理論 | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 記号処理演習 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 計算機代数学 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 多変量解析 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 確率統計学特論 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 確率解析学 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 保険数学 | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 金融工学 | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【教職課程】

システム理工学部 電子情報システム学科 機械制御システム学科 環境システム学科
生命科学科 数理科学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|------------------------|-----------------|-----|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 職 論 | | | 2 | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 の 近 代 史 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 の 現 代 史 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 課 程 論 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 中学校免許状の課程のみ適用 |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | | 2 | |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | | 2 | |
| | 教 育 相 談 論 | | | 2 | |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | | 2 | | |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | | 1 | | |
| 教 育 実 習 1 | | | 2 | | |
| 教 育 実 習 2 | | | 2 | | |
| 教 科 又 は 教 職 に 関 する 科 目 | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 高等学校免許状の課程のみ適用 |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学部 | 学科名 | 免許状の種類 | 教科名 |
|----------|------------|-------------|----------|
| システム理工学部 | 電子情報システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報・工業 |
| | 機械制御システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 環境システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 生命科学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学・理科 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・理科・工業 |
| | 数理科学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報 |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 所要資格等 免許状の種類 | 基礎資格 | 専門教育科目の最低単位数 | | | |
|-----------------|--|--------------|--------|----------|---------------|
| | | 教科に関する科目 | | 教職に関する科目 | 教科または教職に関する科目 |
| | | 教科名 | 単位数 | | |
| 中学校教諭 1種免許状 | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 35単位 | 8単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| 高等学校教諭 1種免許状 | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 27単位 | 12単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| | | 情 報 | 20単位以上 | | |
| | | 工 業 | 20単位以上 | | |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | | 中学校教諭1種免許状 | | 高等学校教諭1種免許状 | | | |
|-----------------------|-------|------|------------|------|-------------|------|------|------|
| | 数 学 | 理 科 | 数 学 | 理 科 | 情 報 | 工 業 | 数 学 | 理 科 |
| 教 職 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 原 論 ※ | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 の 近 代 史 ※ | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 の 現 代 史 ※ | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 心 理 学 ※ | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 社 会 学 ※ | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 課 程 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 数 学 科 指 導 法 1 | 2 単位 | | 2 単位 | | | | | |
| 数 学 科 指 導 法 2 | 2 単位 | | 2 単位 | | | | | |
| 数 学 科 指 導 法 3 | 2 単位 | | 2 単位 | | | | | |
| 数 学 科 指 導 法 4 | 2 単位 | | 2 単位 | | | | | |
| 理 科 指 導 法 1 | | 2 単位 | | 2 単位 | | | | |
| 理 科 指 導 法 2 | | 2 単位 | | 2 単位 | | | | |
| 理 科 指 導 法 3 | | 2 単位 | | 2 単位 | | | | |
| 理 科 指 導 法 4 | | 2 単位 | | 2 単位 | | | | |
| 情 報 科 指 導 法 1 | | | | | 2 単位 | | | |
| 情 報 科 指 導 法 2 | | | | | 2 単位 | | | |
| 工 業 科 指 導 法 1 | | | | | | | 2 単位 | |
| 工 業 科 指 導 法 2 | | | | | | | 2 単位 | |
| 道 徳 教 育 の 研 究 | 2 単位 | 2 単位 | | | | | | |
| 特 別 活 動 の 研 究 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 相 談 論 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 | 1 単位 |
| 教 育 実 習 1 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 育 実 習 2 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 | 2 単位 |

※【各学科共通】総合科目

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修 得 単 位 数 | |
|-----|---------------------------|------------|-------------|
| | | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 |
| 数 学 | 代 数 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 幾 何 | | |
| | 解 析 | | |
| | 確 率 論、統 計 | | |
| 理 科 | コ ン ピ ュ ー タ | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 物 理 | | |
| | 化 学 | | |
| | 生 物 | | |
| | 地 球 学 実 験 | | |
| | 物 理 学 実 験 | | |
| 情 報 | 物 理 学 実 験 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 化 学 実 験 | | |
| | 生 物 学 実 験 | | |
| | 地 球 学 実 験 | | |
| | 地 球 学 実 験 | | |
| 工 業 | 情 報 社 会 及 び 情 報 倫 理 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | コ ン ピ ュ ー タ 及 び 情 報 処 理 | | |
| 工 業 | 情 報 シ ス テ ム | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク | | |
| | マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 及 び 技 術 | | |
| 工 業 | 情 報 と 職 業 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 職 業 指 導 | | |
| 工 業 | 職 業 指 導 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 関 係 科 目 | | |
| 工 業 | 計 | 計 20 単位以上 | 計 20 単位以上 |
| | 計 | | |

別表5

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|-----------|------------------|-----|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 人文系 | 哲学倫理学 | | 2 | | △…教科に関する科目（工業） |
| | 工企民倫 | | 2 | | |
| | 比較俗文化 | | 2 | | |
| | 認知文心化 | | 2 | | |
| | 組織心術と哲 | | 2 | | |
| | 組科学技と人 | | 2 | | |
| | 自認然識境 | | 2 | | |
| | △環境 | | 2 | | |
| | △エレクト | | 2 | | |
| | △プレゼンテ | | 2 | | |
| | △体体育 | | 2 | | |
| | △体体育 | | 1 | | |
| | △社会学／社会情報学 | | 2 | | |
| | △社会行動間 | | 2 | | |
| △社会マクロ経済学 | | 2 | | | |
| 社会科学系 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| 社会科学系 | 計量経営学 | | 2 | | |
| 社会科学系 | 経法 | | 2 | | |
| 社会科学系 | 日行 | | 2 | | |
| 社会科学系 | 本 国 憲 法 | | 2 | | |
| 社会科学系 | 日 本 国 政 法 | | 2 | | |
| 外国語 | 英語 | | 2 | | 英語科目 |
| | ビジネス英語 | | 2 | | |
| | 時事英語 | | 2 | | |
| | 総合英語 | | 2 | | |
| | 英英語 | | 2 | | |
| | 英英基礎 | | 2 | | 英語科目以外 |
| | 英英基礎 | | 2 | | |
| | 英英基礎 | | 2 | | |
| | 英英基礎 | | 2 | | |
| | 英英基礎 | | 2 | | |
| キャリア系 | △キャリアと就職 | | 1 | | |
| | △キャリア形成コミュニケーション | | 1 | | |
| | △キャリア・デザイン | | 1 | | |
| 教育系 | 教育の原論 | | 2 | | |
| | 教育の近代史 | | 2 | | |
| | 教育の現代史 | | 2 | | |
| | 教育の心理社会学 | | 2 | | |
| | △工学基礎概論 | | | 2 | |
| △職業基礎指導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | 適 用 | |
|-------------------------------------|---------------|-----|----|----------------|----------------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| サイエンス科目 共通 基礎科目 エンジニアリング科目 | 微積分学 1 | 2 | | △…教科に関する科目（工業） | |
| | 微積分学 1 演習 | | 1 | | |
| | 微積分学 2 | | 2 | | |
| | 微積分学 2 演習 | | 1 | | |
| | 線形代数 1 | 2 | | | |
| | 線形代数 2 | | 2 | | |
| | 解析学 1 | | 2 | | |
| | 解析学 2 | | 2 | | |
| | 数値解析 | 2 | | | |
| | 微分方程式 | | 2 | | |
| | 確率統計 | | 2 | | |
| | △ 物理学 1 | | 2 | | |
| | 物理学 2 | | 2 | | |
| | 一般力学 1 | | 2 | | |
| | 一般力学 2 | | 2 | | |
| | 一般力学 3 | | 2 | | |
| | 社会ニーズ調査技法 | | 2 | | △…教科に関する科目（工業） |
| | 社会ニーズ分析 | | 2 | | |
| 情報処理 1 | 2 | | | | |
| 情報処理演習 1 | 1 | | | | |
| △ 情報処理 2 | 2 | | | | |
| △ 情報処理演習 2 | 1 | | | | |
| 工学システム解析 | 2 | | | | |
| △ 電気機器基礎 | | 2 | | | |
| 数理解画法 | 2 | | | | |
| △ CAD/CG 演習 | | 2 | | | |
| △ 材料科学 | | 2 | | | |
| △ 機械力学 | | 2 | | | |
| △ 構造力学 1 | | 2 | | | |
| △ 材料力学 | | 2 | | | |
| △ 基礎エレクトロニクス | | 2 | | | |
| シミュレーション工学 | | 2 | | | |
| 統計学演習 | | 2 | | | |
| 社会統計解析 | | 2 | | | |
| △ 熱流体基礎 | | 2 | | | |
| 共通 専門科目 | △ デザイン工学入門 | 2 | | △…教科に関する科目（工業） | |
| | デザイン史 | 2 | | | |
| | △ ものづくり概論 | 2 | | | |
| | △ 建築・空間デザイン 1 | | 2 | | |
| | 総合導入演習 | 2 | | | |
| | △ デザイン制作実験 | | 2 | | |
| | △ 造形論 | 2 | | | |
| | △ 色彩論 | 2 | | | |
| | △ 図学 | | 1 | | |
| | △ プロダクトデザイン | | 2 | | |
| | パブリックデザイン | | 2 | | |
| | 3D モデリング | | 2 | | |
| | デザイン基礎造形演習 1 | | 2 | | |
| | デザイン基礎造形演習 2 | | 2 | | |
| | 機構デザイン | | 2 | | |
| 機構デザイン | | 2 | | | |
| 計測制御工学 | | 2 | | | |
| ディジタル回路 | | 2 | | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | 適 用 |
|--|----------------------------|-----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 共 通 専 門 科 目 | コンピュータアーキテクチャ | | 2 | △…教科に関する科目（工業） |
| | △ プログラミング | | 2 | |
| | △ プログラミング演習 | | 2 | |
| | 経営管理論 | | 2 | |
| | オペレーションズ・リサーチ | | 2 | |
| | 財務会計 | | 2 | |
| | マーケティング | | 2 | |
| | マーケティング・リサーチ | | 2 | |
| | ゲーム理論／戦略的思考 | | 2 | |
| | △ インダストリアルエンジニアリング | | 2 | |
| | △ 金型デザイン | | 2 | |
| | △ CAD/CAM 演習 | | 2 | |
| | △ 生産加工学 | | 2 | |
| | △ 社会調査法 | | 2 | |
| | △ 建築・空間デザイン2 | | 2 | |
| | △ 空間デザイン基礎 | | 2 | |
| | △ 建築・都市論 | | 2 | |
| | △ 都市住宅論 | | 2 | |
| | △ 空間情報デザイン | | 2 | |
| | △ 空間情報デザイン演習 | | 1 | |
| △ 景観デザイン | | 2 | | |
| 知的財産権論 | | 2 | | |
| ビジネスモデル論 | | 2 | | |
| 専 門 科 目 | △ ユニバーサルデザイン | | 2 | △…教科に関する科目（工業） |
| | △ エモーショナルデザイン | | 2 | |
| | △ インターフェースデザイン | | 2 | |
| | △ デザインマネジメント | | 2 | |
| | △ コミュニケーションデザイン | | 2 | |
| | △ サービスデザイン | | 2 | |
| | △ プロダクトデザイン演習1 | | 2 | |
| | △ プロダクトデザイン演習2 | | 2 | |
| | △ プロジェクト演習1 (プロダクトデザイン) | | 4 | |
| | △ プロジェクト演習5 (プロダクトデザイン) | | 4 | |
| | △ メカトロニクス | | 2 | |
| | △ ロボティクス | | 2 | |
| | △ モーションコントロール | | 2 | |
| | △ 信号処理 | | 2 | |
| | △ ソフトウェア設計論 | | 2 | |
| | △ ソフトウェア設計論演習 | | 1 | |
| | △ オブジェクト指向プログラミング | | 2 | |
| | △ オブジェクト指向プログラミング演習 | | 1 | |
| | △ 情報ネットワーク | | 2 | |
| | △ 組込みシステム | | 2 | |
| △ データ構造とアルゴリズム | | 2 | | |
| △ プロジェクト演習2 (メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア) | | 4 | | |
| △ プロジェクト演習6 (メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア) | | 4 | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| | 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|------------------|----------------------------|-----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | △ コストマネジメント | | 2 | △…教科に関する科目（工業） |
| | △ 生産システムマネジメント | | 2 | |
| | 物 流 管 理 | | 2 | |
| | △ 形 状 創 製 実 習 | | 2 | |
| | △ 成 形 加 工 実 習 | | 2 | |
| | 高 度 CAD/CAM 演 習 | | 2 | |
| | △ CAE 演 習 | | 2 | |
| | 材 料 工 学 | | 2 | |
| | プロジェクト演習 3 （生産システムデザイン） | | 4 | |
| | プロジェクト演習 7 （生産システムデザイン） | | 4 | |
| | △ 造 形 ・ 製 図 演 習 1 | | 2 | |
| | △ 造 形 ・ 製 図 演 習 2 | | 2 | |
| | △ 建 築 ・ 空 間 デ ザ イ ン 演 習 1 | | 2 | |
| | △ 建 築 ・ 空 間 デ ザ イ ン 演 習 2 | | 2 | |
| | 防 災 ・ 安 全 計 画 | | 2 | |
| | 空 間 保 全 再 生 計 画 | | 2 | |
| | △ 都 市 施 設 計 画 | | 2 | |
| | △ 建 築 ・ 都 市 法 制 | | 2 | |
| | 都 市 開 発 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | |
| | イ タ リ ア 建 築 実 習 A | | 2 | |
| | イ タ リ ア 建 築 実 習 B | | 2 | |
| | 韓 国 建 築 実 習 A | | 2 | |
| | 韓 国 建 築 実 習 B | | 2 | |
| | ロ シ ア 建 築 実 習 A | | 2 | |
| | ロ シ ア 建 築 実 習 B | | 2 | |
| | フ ラ ン ス 建 築 実 習 A | | 2 | |
| | フ ラ ン ス 建 築 実 習 B | | 2 | |
| | プロジェクト演習 4 （建築・空間デザイン） | | 4 | |
| | プロジェクト演習 8 （建築・空間デザイン） | | 4 | |
| | 環 境 工 学 | | 2 | |
| | 建 築 設 備 | | 2 | |
| | △ 建 築 構 造 | | 2 | |
| △ 構 造 力 学 2 | | 2 | | |
| △ 建 築 材 料 | | 2 | | |
| △ 建 築 生 産 | | 2 | | |
| 総 合 プ ロ ジ ェ ク ト | 6 | | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【教職課程】

デザイン工学部 デザイン工学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|--------------|-----------------------|-----|----|----|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 職 論 | | | 2 | 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 の 近 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 の 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 課 程 論 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | | 2 | |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | | 2 | |
| | 教 育 相 談 論 | | | 2 | |
| | 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | | 2 | |
| | 事 前 ・ 事 後 指 導 | | | 1 | |
| | 教 育 実 習 1 | | | 2 | |
| 教科又は教職に関する科目 | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 高等学校免許状の課程のみ適用 |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学 部 | 学 科 名 | 免 許 状 の 種 類 | 教 科 名 |
|---------|---------|-------------|-------|
| デザイン工学部 | デザイン工学科 | 高等学校教諭1種免許状 | 工業 |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 免許状 の種類 | 所 要 資格等 | 基 礎 資 格 | 専 門 教 育 科 目 の 最 低 単 位 数 | | | |
|--------------------------|------------|--|-------------------------|--------|----------|---------------|
| | | | 教科に関する科目 | | 教職に関する科目 | 教科または教職に関する科目 |
| | | | 教科名 | 単位数 | | |
| 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 工 業 | 20単位以上 | 27単位 | 12単位 |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | 高等学校教諭1種免許状 |
|-----------------------|-------|-------------|
| | | 工業 |
| 教 職 論 | | 2 単位 |
| 教 育 原 論 | ※ | 2 単位 |
| 教 育 の 近 代 史 | ※ | 2 単位 |
| 教 育 の 現 代 史 | ※ | 2 単位 |
| 教 育 心 理 学 | ※ | 2 単位 |
| 教 育 社 会 学 | ※ | 2 単位 |
| 教 育 課 程 論 | | 2 単位 |
| 工 業 科 指 導 法 1 | | 2 単位 |
| 工 業 科 指 導 法 2 | | 2 単位 |
| 特 別 活 動 の 研 究 | | 2 単位 |
| 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | 2 単位 |
| 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | 2 単位 |
| 教 育 相 談 論 | | 2 単位 |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | 1 単位 |
| 教 育 実 習 1 | | 2 単位 |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | 2 単位 |

※共通教養科目

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修得単位数 |
|-----|-------------------------|-------------|
| | | 高等学校教諭1種免許状 |
| 工 業 | 関 係 科 目 職 業 指 導 計 | 1 8 単位 |
| | | 2 単位 |
| | | 2 0 単位以上 |

別表 6

学部・学科別卒業要件（取得単位数）

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

基底科目全ての認定を得ること。

【機械工学科】

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から48単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目の必修科目9単位」を含み22単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語基底科目」・「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から10単位以上を取得すること。 「情報科目」から2単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 「人文分野科目の必修科目2単位」を含み12単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目</p> <p>5. 共通工学系教養科目 必修科目2単位を取得すること。</p> | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 20単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【機械機能工学科】

| | | | |
|---------------|--|----------|----------------------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から46単位以上(基底科目を除く)</p> <p>1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目」から必修科目9単位を含み23単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から10単位以上を取得すること。 「情報基礎科目」から必修科目1単位を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 「人文分野科目の必修科目2単位」、「総合分野科目の必修科目2単位」を含む合計12単位以上 を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 28単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 (基底科目を除く) |

【材料工学科】

| | | | |
|----------|--|----------|---------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から32単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 「数理基底科目」・「数理専門基礎科目の必修科目9単位」を含み16単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 } 「英語上達科目Ⅰの必修科目4単位」、「人文社会系教養科目の 3. 人文社会系教養科目 } 選択指定科目2単位」を含み16単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | |
| 科専門群 | 必修科目 26単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【応用化学科】

| | | | |
|----------|--|----------|---------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から51単位以上(指定科目から4単位以上を取得すること)</p> <p>1. 共通数理科目 「数理基底科目」・「数理専門基礎科目の必修科目4単位」を含み20単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語科目」から12単位以上を取得すること。「情報科目」から3単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 「人文分野科目の必修科目2単位」を含み12単位以上取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | |
| 科専門群 | 必修科目 24単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【電気工学科】

| | | | |
|----------|--|----------|----------------------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から48単位以上(基底科目を除く)</p> <p>1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目から必修科目18単位」を含み20単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み12単位以上を取得すること。 「情報関連科目」から必修科目3単位を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 } 「人文社会系教養科目」・「共通工学系教養科目」から必修4単位を含み 4. 共通工学系教養科目 } 10単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通健康科目 「理論科目」から2単位以上、「身体的コミュニケーションスキル科目」から1単位以上を取得すること。</p> | | |
| 科専門群 | 必修科目 22単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 (基底科目を除く) |

【通信工学科】

| | | | |
|---------------|--|----------|---------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から32単位以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目」から必修科目10単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から4単位以上を取得すること。 3. 人文社会系教養科目 必修科目4単位を含み6単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 「身体的コミュニケーションスキル科目」から2単位以上を取得すること。 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 17単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【電子工学科】

| | | | |
|---------------|--|----------|----------------------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から48単位以上(基底科目を除く)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目」から必修科目12単位を含み16単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み12単位以上を取得すること。 「情報科目」から3単位以上を取得すること。 3. 人文社会系教養科目 「人文分野」から必修科目4単位、「総合分野・コミュニケーション」から2単位以上、 「総合分野・環境」から2単位以上を含み10単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 「理論科目」から2単位以上、「身体的コミュニケーションスキル科目」から1単位以上を取得すること。 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 34単位 を含み 70単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 (基底科目を除く) |

【土木工学科】

| | | | |
|---------------|--|----------|---------|
| 共通・教養科目群 | <p>共通・教養科目群から40単位以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理基底科目」・「数理専門基礎科目」から必修科目5単位を含み14単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 「英語科目」から10単位以上を取得すること。「情報科目」から3単位以上を取得すること。 3. 人文社会系教養科目 必修科目2単位を含み10単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 3単位以上を取得すること。 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 8単位 を含み 72単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【建築学科】

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 共通・ 教養科目群 | <p>共通・教養科目群から32単位以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目」から4単位以上、「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から4単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 3. 人文社会系教養科目 「数理専門基礎科目」・「人文社会系教養科目」から24単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 30単位 を含み 72単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

全ての在学生について、原則この卒業要件を適用する。

【建築工学科】

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 共通・ 教養科目群 | <p>共通・教養科目群から34単位以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理基底科目」・「数理専門基礎科目」から12単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 「英語科目」から10単位以上を取得すること。 3. 人文社会系教養科目 12単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 28単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【情報工学科】

| | | | |
|---------------|--|----------|---------|
| 共通・ 教養科目群 | <p>共通・教養科目群から40単位以上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通数理科目 「数理専門基礎科目」から8単位以上を取得すること。 2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から6単位以上を取得すること。 3. 人文社会系教養科目 「人文分野科目」から2単位以上、「社会分野科目」から2単位以上、「総合分野科目」から2単位以上、合計6単位以上を取得すること。 4. 共通健康科目 「共通健康科目」から2単位以上を取得すること。 5. 共通工学系教養科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 25単位 を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

別表6

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は130単位以上

| | | | | |
|------|------------|--|----------------------|-----------|
| 総合科目 | 外国語以外 | 電子情報システム学科 機械制御システム学科 生命科学科 数理科学科 環境システム学科 | 選択 18単位以上 | |
| | 外国語 | 各学科共通 外国語の科目は、2カ国語以上を修得し、そのうち英語は8単位以上、計10単位以上を取得する。 | | |
| 共通科目 | 基礎科目 | 電子情報システム学科 | 必修 12単位 選択 10単位以上 | } 計22単位以上 |
| | | 機械制御システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | |
| | | 環境システム学科 | 必修 6単位 選択 8単位以上 | } 計14単位以上 |
| | | 生命科学科 | 必修 4単位 選択 14単位以上 | |
| | | 数理科学科 | 必修 17単位 選択 8単位以上 | } 計25単位以上 |
| | システム・情報科目 | 電子情報システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | |
| | | 機械制御システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | } 計20単位以上 |
| | | 環境システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | |
| | | 生命科学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | } 計20単位以上 |
| | | 数理科学科 | 必修 12単位 選択 6単位以上 | |
| 専門科目 | 電子情報システム学科 | 必修 20単位 選択 40単位以上 | } 計60単位以上 | |
| | 機械制御システム学科 | 必修 36単位 選択 26単位以上 | | } 計62単位以上 |
| | 環境システム学科 | 必修 20単位 選択 42単位以上 | } 計62単位以上 | |
| | 生命科学科 | 必修 6単位 選択 58単位以上 | | } 計64単位以上 |
| | 数理科学科 | 必修 21単位 選択 38単位以上 | } 計59単位以上 | |

・環境システム学科は、専門科目のうち、3年次の演習・実験科目から、前期1科目以上、後期1科目以上、計2科目以上を履修し、単位を取得しなければならない。

なお、これらの単位は、環境システム学科の専門科目（選択）に関連する卒業要件（42単位以上）に含まれるものとする。

・数理科学科は、数学特別講義A, B, Cのうち1科目以上を履修し、単位を取得しなければならない。なお、これらの単位は、数理科学科の専門科目（選択）に関連する卒業要件（38単位以上）に含まれるものとする。

別表 6

デザイン工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。
 但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は130単位以上

| | | |
|--------|------------|--|
| 共通教養科目 | | 外国語を除いた共通教養科目 20単位以上 外国語科目 10単位以上 ※外国語科目は、10単位中8単位は英語科目で取得すること |
| 共通基礎科目 | サイエンス科目 | 必修 6単位 選択 6単位以上 |
| | エンジニアリング科目 | 必修 10単位 選択 8単位以上 |
| 共通専門科目 | | 必修 12単位 選択 24単位以上 |
| 専門科目 | | 必修 6単位 選択 28単位以上 |

別表 8

学位の種類

工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|---------|------------|
| 機械工学科 | 学士（工学） |
| 機械機能工学科 | 学士（機械機能工学） |
| 材料工学科 | 学士（工学） |
| 応用化学科 | 学士（工学） |
| 電気工学科 | 学士（工学） |
| 通信工学科 | 学士（工学） |
| 電子工学科 | 学士（工学） |
| 土木工学科 | 学士（工学） |
| 建築学科 | 学士（工学） |
| 建築工学科 | 学士（工学） |
| 情報工学科 | 学士（工学） |

システム理工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|------------|----------|
| 電子情報システム学科 | 学士（工学） |
| 機械制御システム学科 | 学士（工学） |
| 環境システム学科 | 学士（工学） |
| 生命科学科 | 学士（生命科学） |
| 数理科学科 | 学士（数理科学） |

デザイン工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|---------|------------|
| デザイン工学科 | 学士（デザイン工学） |

芝 浦 工 業 大 学

北原白秋 作詞
山田耕筰 作曲

1. 朝日に輝く 風と潮 雄大 空あり 雲は移る
あさ ひ かがや かぜ うしお ゆう だい そら くも うつ
あお こう き へん ぼん はく あ でん どう ここに聳え
仰げよ校旗の 翩翻たるを 白亜の殿堂
わねらが工学 英気鍾む 芝浦 芝浦 わねらが母校
こうがく えい き かつ しばうら しばうら ほ こう

2. 世紀に脈うつ 熱と理性 剛健 矩あり 常に鍛ふ
せい き みやく ねつ り せい ごう けん のり つね きた
おこな はつ らつ し てい じゆんじょう いつ よ
行へほがらに 澆刺たれや 師弟の純情 一に依りて
みが 磨くにこの技 神に通ず 芝浦 芝浦 わねらが母校
み が わざ かみ つう しばうら しばうら ほ こう

3. 永遠に栄ゆく 意志と秩序 誠実 ただあり 道は徹る
と わ さかえ い し ちつじょ せい じつ みち とお
ゆめ こう り ぼく ぼく せい び こと つ
夢むな空理の 漠々たるを 精微をきはめて 事に即かば
こうがく にっ ぽん だい な しばうら しばうら ほ こう
工学日本 大を成さん 芝浦 芝浦 わねらが母校

芝浦工業大学

住所 東京都江東区豊洲3丁目7番5号
電話 03-5859-7000 代表